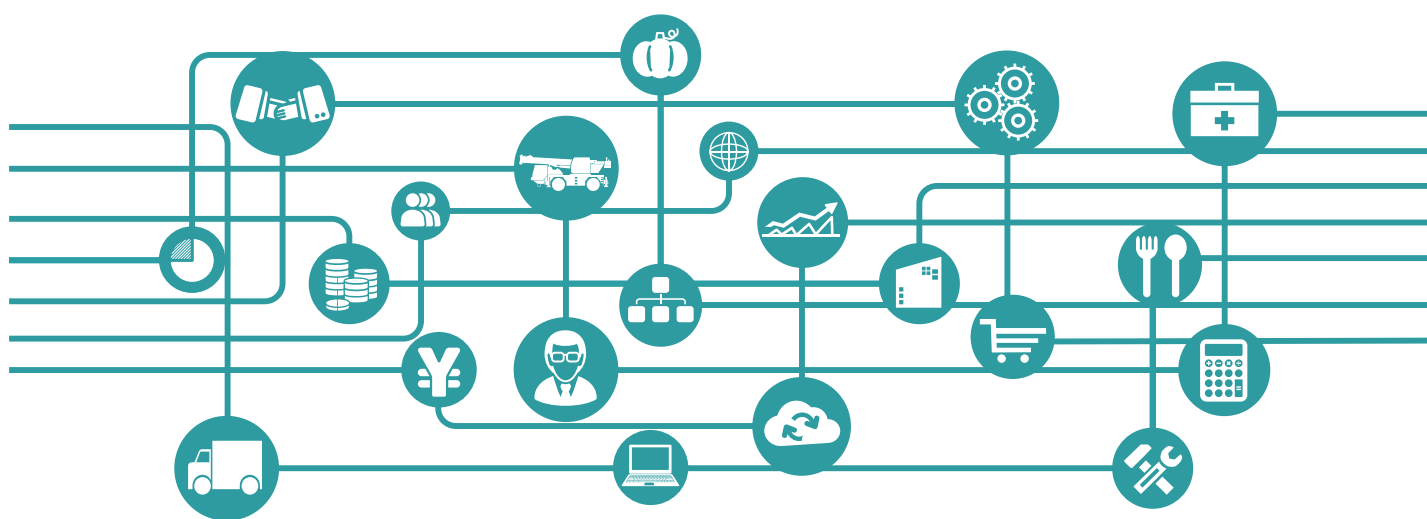


～ 非 當 利 ～





『PCA給与X』×食券発行・食費天引きシステムの連携で食堂のメニューも多彩に。
コストをかけなくても、実感してもらえる
充実した福利厚生のあるあり方。

社会福祉法人 真寿会 老人保健施設 リハビリセンターあゆみ

3,344平米もの広大な敷地に建つ老人保健施設「リハビリセンターあゆみ」。利用者が自立した生活に戻れるための支援に力を入れており、先進の機能訓練室や広々とした浴室など充実した設備環境を整えている。その充実ぶりは働くスタッフにとっても同様だ。福利厚生に力を入れており「コストをかけずに、いかにみんなが働きやすい環境を作れるか」が総務課の課題になっている。働きやすい環境づくりの一助として導入されたPCAのシステムによって、スタッフたちが毎日喜べる効果がすでに出ている。

導入システム

- PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type2 2CAL)
- ・ PCA 給与 X クラウド ・ PCA 人事管理 X クラウド
- 就業管理クロノス ※1 ○テレタイム Zaion ※2
- テレタイム X(タイムレコーダー) ※3 ○Web 給金帳 ※4

導入の狙い

- ・少数の人員で200名を超えるスタッフの勤怠管理をしたい。
- ・総務本来の仕事をするためにも、勤怠管理の効率化を進めたい。
- ・食券発行と食費天引きのミスを減らしたい。
- ・コストをかけずに福利厚生を充実させたい。

導入効果

- ・PCAのソリューションによって、スマートで確実な勤怠管理システムを実現。
- ・『PCA給与X』とクロノスの連携によって、ミスのない食券発行・給与天引きシステムを実現。
- ・勤怠管理の仕組みを見直したことで、食堂のメニューも多彩に。従業員の福利厚生を拡充。

プロフィール

社会福祉法人 真寿会 老人保健施設 リハビリセンターあゆみ

- 所在地: 〒521-1201 滋賀県東近江市新宮町558番地
- 開設年月日: 平成8年10月1日
- 従業員数: 97名 (法人全体: 207名)
- 業種: 介護保険事業
- 建物面積: 3,344平方メートル
- 入所定員: 100名(ショートステイを含む)
- 通所リハビリ定員: 40名
- 訪問リハビリ、居宅介護支援 ※訪問介護 (H28.1開設予定)
- URL: <http://shiga-shinjukai.or.jp/>

「その人らしい生活」の実現のために

私たちは、『介護』を必要とされる方に、リハビリテーションを通じて在宅への復帰または在宅生活の継続を支援しています。

そのために、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士によるリハビリテーション、また医師をはじめ介護支援専門員・介護福祉士・看護師・管理栄養士・支援相談員など専門スタッフが、健康管理・食事・入浴など利用者様ひとりひとりの目標に合わせたケアサービスをチームで提供しています。



※ 1・2・3・5)：『就業管理クロノス』『テレタイムZaion』『テレタイムX(タイムレコーダー)』『就業管理たんぽぽ』は、クロノス(株)の製品です。

※ 4)：『Web給金帳』は、(株)インターコムの製品です。



社会福祉法人 真寿会
老人保健施設 リハビリセンターあゆみ
副施設長
谷 智之 氏



社会福祉法人 真寿会
老人保健施設 リハビリセンターあゆみ
総務課 副主任
西澤 美穂 氏

導入前の運用と課題

○5名の総務課で200名を超えるスタッフの確実な勤怠管理・給与処理を行うために

琵琶湖にほど近いのどかな環境の中、利用者の早期在宅復帰をめざす先進の設備を備えたリハビリセンターあゆみ。3,344平米もの広大な敷地の中には同じ社会福祉法人の特別養護老人ホームなど、全4棟の施設が広がっている。勤務するスタッフの数も4施設で200名を超える大所帯となっているが、勤怠管理や給与処理を行う総務課の人員はわずか5名だ。同センターには医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護職員、看護師など様々な職種のスタッフが勤務し、さらに多様な資格や勤務シフト、給与体系などに分かれている。そのため給与処理は大きな負担になっていた。

「もともとは別のメーカーのソフトを使って1施設70～80名の勤怠管理・給与処理を行っていました。しかし4施設を一括して管理することになり、処理対象のスタッフの数は一気に200名に。時間的にも人数的にも手が回らなくなることは自明の理で、この複雑な勤怠管理を処理できるソフト、システムを探し始め、最初にたどり着いたのが『就業管理クロノス』でした」(副施設長 谷智之氏)

まずは『就業管理クロノス』(当時は『就業管理たんぽぽ』※5)と『テレタイムZaion』を導入し、『PCA給与X』と連携。さらに現在は『PCAクラウド』の『PCA給与X』と『テレタイムX』(タイムレコーダー)を連携させた「食券発行+給与からの食費天引き」も導入している。給与明細は『Web給金帳』を利用している。

「大掛かりなシステム変更ですが、一つずつ新しいソフトを導入していったのでスムーズに稼働できました。一つのソフトについて徐々に知識を取り入れることができたので、総務課も各現場も問題なく導入できました」(総務課 副主任 西澤美穂氏)

導入後の効果

○勤怠管理の効率化で総務課は仕事の精度が向上。各職員・スタッフは自己管理ができる様に

リハビリセンターあゆみが現在の勤怠管理システムを導入したことで、メリットは大きく2つある。勤怠管理の効率化によって総務課全体の仕事の質が向上したことと、スタッフが自分で実働時間や休暇を申請するようにしたことで、労働時間の自己管理ができるようになったことだ。

まず勤怠管理の効率化については「PCAのシステムによって、総務課本来の仕事ができるようになった」と評価している。同法人では正規職員だけでも定時が20種類あり、給与も月給制と時給制の他、年俸制など多様化している。24時間365日絶えず人が働いており、タイムカードを一斉に締めることさえ難しい。総務課の中に、各スタッフのシフトをほぼ暗記している職員がおり、その職人芸のようなスキルに頼っていた部分も大きかった。

また、スタッフが自己管理できるようになった点については「紙で処理していた時は、不明点があるとそのスタッフがいる時間を見計らって電話し、この日は有給でしたか?」といちいち確認していました。でもよく考えたらこのような確認作業は総務本来の仕事ではなく、確実にそろった勤怠データがあった上で、それを正確に計算し処理していくことが本来の仕事だと考えたのです」(西澤氏)

そこで『テレタイムZaion』によって職員やスタッフ自らが実働時間や休暇を申請できるようにした。そのデータは『PCA給与X』と連携されており、そのまま『Web給金帳』へと送られる。総務課は無駄な入力や確認作業を減らすことで、より精度の高い勤怠管理・給与処理を行えるようになった。

「勤怠管理・給与処理の仕組みを見直したことのメリットは、総務課の負担を減らすこ

とだけではありません。スタッフが自分の実働管理をすることで、働く時間の自己管理にもなっています」(谷氏)

『Web給金帳』によって給与明細を袋詰めにする作業もなくなった。以前は半日かけて袋詰めし、各スタッフがいる時間に手渡ししていたが、それぞれ勤務時間が異なるため全スタッフに渡し終えるまでに相当の時間がかかっていた。このような時間の無駄も大きく解消できている。

○ICカード食券発行システムで、食堂のメニューも一気に増加。お昼の楽しみが増えた

200名を超えるスタッフが働く同法人では、職員用食堂の食券・食費の管理にも苦労していた。食堂で食べた昼食費は給与から天引きしていたが、「この日は食べてないのに引かれている」「その日は確か有給だった」と実際のデータとの相違が生まれていた。これを解決するために用いられたのが、『テレタイムX』と『PCA給与X』の連携による「食券発行+給与からの食費天引き」システムだ。

①各スタッフはその日に食べたいメニューをあらかじめ登録入力→②そのデータは総務課と厨房スタッフで共有し、厨房側はそれを基に調理→③昼食の時間になると食堂にきたスタッフはICカードを『テレタイムX』にかざして食券を発行し、食事をとる→④実食のデータは『PCA給与X』に送られ、ミスなく確実に処理される。

「以前は実食データの確認だけでも毎月時間を費やしていましたが、今は、ピッとかざす=ちゃんと食べたということですから、確認処理を大きく軽減できました」(西澤氏)

「以前は総務課と食堂が距離的にも近かったのですが、現在は離れてしまったため細かな連絡を取り合うのが難しくなりました。このような距離の問題もPCAのシステムによって解消できました。各スタッフの入力した食べたいメニューのデータを共有フォルダに置き、厨房スタッフはそれを見て調理できます。そのため紙データの頻繁なやり取り



職員食堂



ICカード食券発行システム

システム概況図

【メリット①】

『PCA給与X』×『就業管理クロノス』『テレタイムZaion』『テレタイムX』
ICカード食券発行+給与からの食費天引きシステム

①職員は、食べたいメニューをあらかじめ登録。

総務課と厨房で登録データを共有。オーダー数を早めに把握できるので、食材の無駄を軽減できる。



②食堂へ来たら、ICカードを『テレタイムX』にかざす。

『テレタイムX用プリンター』から食券が発行される。

情報は『PCA給与X』へ転送される。

テレタイムX
(タイムレコーダー)



・就業管理クロノス
・テレタイムZaion

PCA給与X

テレタイムX用
プリンター

食券

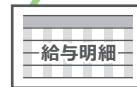
③総務課・厨房スタッフの努力と効率化によって、食堂のメニューが1種類から5種類に！



【メリット②】

『PCA給与X』×『Web給与帳』

自分の給与明細を、PC・スマートフォンいつでも確認・出力可能。



PCA
給与X

Web給金帳

【メリット③】

『PCA給与X』『PCA人事管理X』

多様な職種・資格・シフト・勤務体系であるスタッフの給与計算・人事管理に対応。業務の効率化を実現。

PCA
給与X

PCA
人事管理X





「リハビリセンターあゆみ」は、早期在宅復帰をめざし、可能な限り自宅で自立した生活が営めるよう支援していきます。



社会福祉法人 真寿会 HP
http://shiga-shinjyukai.or.jp/

りをする必要もなくなりました。おそらく厨房スタッフも早い段階でメニューを把握することで食材の廃棄を減らすなどの効果も出ていると思います」(谷氏)

食堂の食券発行の仕組みを見直したことや、総務課・厨房スタッフの努力もあり、以前は1種類だったメニューが現在は5種類まで増えた。各スタッフは日替わりで違うメニューを楽しめるようになっている。食券発行システムによって食堂が充実し、働く人が実感できる福利厚生が実現した。

○小さな効果に見えることが、じつは大きな効果へと繋がっている

副施設長の谷氏は、勤怠管理の効率化や食券発行システムの見直しについて、その目的を次のように語る。

「勤怠管理の効率化や食券発行システムの見直しは、一見、小さなことだと思う人がいるかもしれませんが、実際には大きな効果に繋がっていくことです。私たち総務課としては、なるべくコストをかけずに、しかし充実した福利厚生を実現していきたいと考えています。当施設は早期在宅復帰をめざす高齢者がたくさん利用しておられ、家に帰るという目的を達成するためには、スタッフが長期的に高齢者を支援していかなければなりません。そのためにもスタッフが長く働きやすい環境を用意することが私たち総務課の仕事です。ですからお昼を充実させて楽しんでもらったり、安心してもらえる確実な勤怠管理・給与処理は大きな意味を持ちます」(谷氏)

「紙の無駄使いをなくしたり、袋詰めの作業を減らすことで間違っって他のスタッフの給与明細を渡すようなリスクを減らすことができ、二重チェックをなくすることができま

した。複雑な給与計算が必要な業種には違いありませんが、最初に計算式をPCAの方に相談し組んでいただき、それを基にして新しく入職した人の計算式を作っています。そのため大きな問題もなくスムーズに『PCA給与X』を利用しています」(西澤氏)

管理する対象となるスタッフが急に増え、以前ならもし総務側がミスをして顔見知りの同僚だから謝って修正すれば済んだ。しかし規模が拡大し会ったことがないスタッフの勤怠管理・給与処理も行うことになり、「今まで以上にミスは許されない。間違いがあつては絶対にいけない」と強く意識したことも導入の背景にあったという。

今後の課題と展望

今後は『PCA人事管理X』を活用してさらにスタッフの能力開発など人事管理のシステム化の推進や、職員の平均年齢や勤務年数、有給消化率などのデータをスムーズに算出する方法も検討されている。同センターの働きやすい環境を具体的な数字や根拠を基にしたデータでわかりやすく伝えることで、多くの人に安心して入職してもらうためだ。

「ニュースでは介護職の厳しさばかりが伝えられていますが、そんなに世間でいうほどきついだけの仕事ではありません。当法人の場合は給与も含めた待遇面に力を入れており、地元出身の若い人が長く働いているという特色を持っています。今後もさらに定着して安心して働いてもらうためにも、PCAソフトを利用しながらより働きやすい環境を追求していきたいです」(谷氏・西澤氏)

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



『PCAクラウド』でコストダウンに成功。
サーバーリースとサーバーレスでは
年間 8万円の差額に。
さらに管理の手間も削減し、
限られた人的資源を有効に活用

一般社団法人 富山県トラック協会

適正で安全なトラック運送事業のために組織された富山県トラック協会。同法人では現在、
『PCAクラウド』『PCA公益法人会計V.12』『PCA給与X』を導入し、業務の確実化・スマート化を
推し進めている最中だ。近隣県のトラック協会の中でも、富山県トラック協会はいち早くクラ
ウド化を進め、PCAソフトも巧みに利用している。同法人が『PCAクラウド』に注目した理由、
そしてPCA製品によって業務がどのように改善されたかを伺った。

導入システム

○PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type2 2CAL) ※

- ・ PCA 公益法人会計 V.12 for SaaS
- ・ PCA 給与 X クラウド

※【イニシャル'0'プラン】初期費用なし、月額利用料のみでご利用いただけるプランです。

導入の狙い

- ・サーバー管理の時間と手間を軽減したい。
- ・制度改革のたびにバージョンアップしていると費用がかさむ。
- ・『社団法人』から『一般社団法人』へと変わり、新会計基準に対応できるソフトに。

導入効果

- ・『PCAクラウド』ならサーバー設置型のような管理が不要。
- ・『PCAクラウド』ならバージョンアップ費用が不要。長期的な視野で見ても、制度改革などの変化に対応しやすい。
- ・『PCA公益法人会計V.12』なら新会計基準に対応。

プロフィール

一般社団法人 富山県トラック協会

- 所在地：〒939-2708 富山県富山市婦中町島本郷 1-5
- 設立：昭和 23 年(1948 年)7 月
- 職員数：13 名
- 業務内容：トラック運送業用の振興・発展のための業務
- 正会員数：571 事業者
- 加入車両台数：11,298 台
- URL：<http://www.toyamatrucking.or.jp>

【コンセプト】

生活と産業を支え、環境を守り、社会と共生を

社団法人富山県トラック協会は、富山県内に営業所または営業区域をもつ貨物自動車運送事業者などにより組織された公益法人です。
昭和 23 年(1948 年)7 月に運輸大臣から設立許可を受けて以来、公益法人として地域社会への貢献と会員事業者の社会的・経済的地位の向上を図るために努力してまいりました。
平成 20 年 12 月に施行された公益法人制度改革により、富山県知事の認可を受け、平成 25 年 4 月 1 日より「一般社団法人富山県トラック協会」として新たな出発をいたしました。

※ 2012年10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。

※ 表示価格は税抜価格です。



一般社団法人 富山県トラック協会
総務部 部長
渡辺 秀人 氏



オフィス風景



輸送サービスセンター
(富山県トラック会館)

導入前の運用と課題

○サーバーのメンテナンスにかかる負担を軽減したい

昭和23年に正会員数5事業者、車両数453台でスタートした一般社団法人富山県トラック協会。現在は正会員数571事業者、加入している車両台数は11,298台(平成25年 4月 1日現在)へと成長し、富山県内の約8割のトラック事業者が同法人に加盟している。

富山県トラック協会が『PCAクラウド』の導入および『PCA公益法人会計V.12』へのバージョンアップを決定した理由について、総務部 部長 渡辺秀人氏は「一言でいうなら、ちょうどよいタイミングでした」と振り返る。

「同時期に大きく3つの課題が重なりました。まず1つ目の課題は、当時使用していたサーバーのリース契約の期限が迫ってきていた点。2つ目はバージョンアップ費用の問題。そして3つ目は当法人が新公益法人制度によって『社団法人』から『一般社団法人』へと変わり、新会計基準に対応できるソフトへの切り替えが急がれていた点でした」

とりわけサーバーについては、管理の煩わしさが気になっていたという。多くの中小企業や法人では、サーバーの管理者を社内に常駐させるのは難しく、社員や職員が兼任しているケースがほとんどだ。同法人でも職員がサーバーのメンテナンスを行っていたが、その担当者が退職。そこでメンテナンスを業者に委託したものの、業者内での引継ぎなどに不備もあり、結果、同法人の職員の時間と手間をとることになった。そのため“サーバーレス”である『PCAクラウド

』には大きな可能性を感じたという。

選定のポイントと稼働までのスケジュール

○サーバーリースとサーバーレスでは年間約8万円の差が！

渡辺氏が『PCAクラウド』の導入、『PCA公益法人会計V.12』へのバージョンアップを具体的に考えるようになったのは、当然、コスト面も大きかった。一般社団法人への移行に伴い、会計(科目・様式)の変更が必要となり、また公益目的支出計画などのための書類作成も求められることになったのだが、そのためには『PCA公益法人会計V.10』から『PCA公益法人会計V.12』へのバージョンアップはどうしても行いたい。そこで、渡辺氏は「サーバー再契約+バージョンアップ」と「クラウド化(※バージョンアップ費用は不要)」の2つの選択肢について、綿密な比較検討を行った。

「当法人の場合には、仮にサーバーをリース契約しバージョンアップする場合だと、まずバージョンアップに約130,000円必要で、かつリース料とメンテナンスの更新料だけで年間420,000円かかることがわかりました。一方、クラウドにした場合はメンテナンス料込みで月額25,000円、年額で300,000円。『PCA給与X』も視野に入れていましたから、それを併せて利用した場合でも年額342,000円。これまでの費用よりも年額78,000円も低く抑えることができるわかりました。またバージョンアップ費用が不要な点は、頻繁に行われる公益法人会計の改正など、今後の長期的な視野で考えると大きな意味があります。さっそく上司へと導

入の伺いを立て、昨年8月に試験導入し、その後問題なく10月からの本稼働へと至りました」

導入後の効果

○『PCAクラウド』なら緊急時のスタンドアロン利用が可能

実際に『PCAクラウド』を導入後は、処理速度などにはまったく問題はなく、スムーズに利用できているそう。情報の一元化などのメリットは当然だが、やはり当初の課題であったメンテナンスの煩わしさから解放された点は大きいと渡辺氏は語る。また万が一回線が利用できない場合でも、スタンドアロン版で運用できる安心感もあるという。バックアップさえしっかり行っておけば、運用に問題はなく、回線が復旧した後は、最新のデータに一元化できる。

セキュリティについても、『PCAクラウド』は他の一般的なクラウドとは異なりかなり厳格なセキュリティ体制を敷いており、その点も導入前にPCA担当者に確認し、特に大きな不安はなかったという。他にも、副次的な効果として、サーバーを置かなくてもよかったため、約1平方メートル分のスペースが空くなど、スマート化は目に見える形で表れている。

○クラウドで『PCA公益法人会計V.12』を利用できるのが最大の特長

このような『PCAクラウド』を利用した『PCA公益法人会計V.12』について、渡辺氏は次のように評価している。「公益法人会計をクラウドで利用できるという環境は、やはりPCAの大きな特長だと考えています。正直なお話をする、今もなお様々なソフ

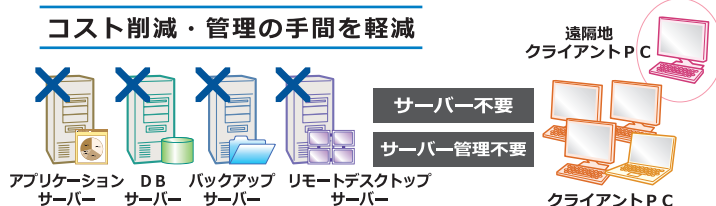


一般社団法人 富山県トラック協会 HP
http://www.toyamatrucking.or.jp

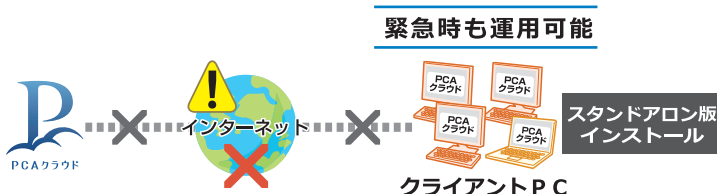
システム概況図

『PCAクラウド』の導入により

1. コストを年間約8万円削減！



2. 緊急時にはスタンドアロンで運用可能！



『PCA公益法人会計V.12』の導入により

1. クラウドにより情報を一元化複数台からの同時入力が可能！



『PCAクラウド』は同時接続ライセンスなのでインストール台数に制限なし

2. 公益法人が必要とする会計業務をすべてカバー！

- ・新会計基準に対応
- ・シンプルな操作で損益ベースの財務諸表を作成
- ・きめ細かい予算管理と、豊富な資料管理
- ・申請書類作成を、強力にサポート



トラックは走り続けます。

国内輸送の約90%を担うトップランナーとして、トラックは今日も日本中の暮らしを支えています。



「トラックの日」ポスター



「トラックの日」街頭PR活動の様子

ト会社が営業に来られるのですが、そのたびに『クラウドでやってますか？』と逆に私の方から質問しているんですよ」

『PCA公益法人会計V.12』については申請書類のExcel®テンプレートについて、次のようなご意見もいただいた。

「『PCA公益法人会計V.12』はExcel®データでの出力もしやすく、この点についても他のソフトよりも秀でている部分だと思います。ただし、Excel®テンプレートのフォーマットそのものは結局手を加えることが多く、この点はまだ工夫が必要なのかと感じますが、数字などはそのまま使えるわけですから、Excel®との互換性が高い性質によって、当法人に限らず書類作成すれば便利だと思います。それと『PCA公益法人会計』と連携させれば、業務は大幅に効率化できると思います」

現在は予算帳票や伺書などの分析資料など、キャッシュ・フロー計算書以外はほぼ使用しているそうだ。同法人の場合、取引している事業者数は571事業者、トラック台数は11,298台あり、これらが同法人の事業・事業グループへと反映されるのだが、これだけの膨大な数でも問題なく事業・プロジェクト管理の登録は行えているそうだ。渡辺氏からは次のようなご提案もいただいた。

「他県のトラック協会の方々とよく話題になるのが、会員様からの会費の請求などの管理方法です。現在はAccess®を利用して処理しているの

ですが、いつもデータが壊れないか心配しながら使っています(笑)。もし公益法人ならではの会費の管理ソフトがあれば便利だと思います。それと『PCA公益法人会計』と連携させれば、業務は大幅に効率化できると思います」

今後の展望と課題

○足りない人員を補えるほどの、高品質なパッケージソフトに期待

他県のトラック協会に先駆けてクラウド化を実現し、『PCA公益法人会計V.12』の性質を上手に利用した運用を行っている富山県トラック協会。さらに『PCA給与X』も今後さらに充実させて使っていきたいそうだ。同法人がこのように、新しいソフトやシステムを取り入れた環境を実現しているのには、次のような事情があると渡辺氏は語る。「ご存知のように、現在、トラック業界は燃料費の高騰で非常に厳しい状況を迎えています。トラックの運転手さんたちが大変なご状況であるということは、すなわちそこから会費をいただいている我々協会も大変な状況であることを意味し、人員補充などは厳しいのが現状です。だからこそ会計ソフトもフルに使って足りない部分を補っていく必要があるのです。そういう意味でも、今後もPCAには大きな期待を寄せています」

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



『PCA給与 X』に連携させた「ワンストップの給与処理」で、時間と紙のコストを削減。
『PCA社会福祉法人会計 V.3』の応用性を活かし、事業形態に沿った会計体系を確立

社会福祉法人 一燈会

湘南エリアを中心に、グループホームや介護老人保健施設などを運営する社会福祉法人一燈会。各施設では多様な資格を持つスタッフが様々なシフトで勤務しており、その勤怠管理と給与計算を「ワンストップで処理」するために、『PCA 給与 X』をはじめとする勤怠管理・給与計算システムが導入された。『社会福祉法人会計 V.3』も長年使用しており、その柔軟性が評価されている。導入にあたってシステム全体を見直したという同法人。PCA 製品がどう活用されているのかを伺った。

導入システム

- ・ PCA 社会福祉法人会計 V.3 EasyNetwork
- ・ PCA 給与 X EasyNetwork
- ・ 就業管理クロノス (500 人制限 15CAL) ※1
- ・ テレタイム Win レコーダー ※3
- ・ Zaion (500 人制限) ※2
- ・ Web 給金帳 ※4

導入の狙い

- ・ 450名の従業員の給与処理を、ワンストップで処理したい。
- ・ 100通りある複雑な勤務区分にも対応できる給与ソフトが必要。

導入効果

- ・ 『Zaion』+『就業管理クロノス』+『PCA給与X』+『Web給金帳』の勤怠管理・給与計算・給与明細ペーパーレスシステムによって、ワンストップで処理。よりミスのない確実な給与処理が可能になった。
- ・ 『PCA給与X』なら自在に計算式を組める。残業計算も端数まで設定でき、多様な資格と雇用形態のスタッフが従事する介護施設での給与計算にも対応。

プロフィール

社会福祉法人 一燈会

- 所在地: 〒259-0134
神奈川県中郡二宮町一色1435-1
- 設立: 1989年6月
- 従業員数: 450名
- URL: <http://www.ittokai.or.jp>

□事業内容

- ・ 介護老人福祉事業(特養・老健)
- ・ 短期入所生活介護(ショートステイ)
- ・ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- ・ 特定施設入所者生活介護(有料老人ホーム)
- ・ サービス付高齢者向け住宅
- ・ 地域密着型介護老人福祉施設
- ・ 通所介護(デイサービス)
- ・ 訪問介護(ホームヘルプサービス)
- ・ 居宅介護支援
- ・ ヘルパースクール

社会福祉法人 一燈会グループ
サポートオフィス 外観



※ 1)『就業管理クロノス』、2)『Zaion』、3)『テレタイム Win レコーダー』は、クロノス(株)の製品です。

※ 4)『Web 給金帳』は、(株)インターコム
の製品です。



社会福祉法人 一燈会
管理部 経営サポート課 課長
岡本 光弘 氏



社会福祉法人 一燈会
管理部 総務課 会計担当
小縄 香保里 氏



サポートオフィスにて取材

導入前の運用と課題

○各地に点在する各施設の勤怠管理・給与計算を確実に効率化したい

西湘エリアを中心に計13カ所の老人介護施設を運営する社会福祉法人一燈会。介護老人福祉施設やグループホーム、デイサービスセンターなど施設の種類も多く、450名ものスタッフが介護に従事している。スタッフの資格や勤務区分も複雑になる介護施設のため、以前の勤怠管理・給与計算にはどうしても時間と工程が必要だった。当時の状況を管理部 経営サポート課 課長 岡本光弘氏は次のように振り返る。

「以前は各施設でタイムカードに打刻された勤務時間を集計していました。タイムカードを遠方から開成町の管理部まで持参してもらわなければならないケースがありました。当法人は各施設が神奈川県中郡・足柄上郡・小田原市・平塚市と広範囲に広がっています。給与明細も遠方の施設から責任者が管理部へ取りに来なければならず、これらの時間短縮は大きな課題でした」(岡本氏)

「以前は各施設の勤怠データが揃い、それを集計し、給与明細を袋詰めするまで2名が2日間かけていました。集計そのものは『PCA給与X』を利用していたため負担は軽かったのですが、450名もの給与明細の袋詰めは大変でした。チェックの時間があまり取れない点も気掛かりでした」(管理部 給与担当者)

選定のポイント

○勤怠管理・給与計算・給与明細ペーパーレスシステムをワンストップで処理

そこで岡本氏は次のような効率化を模索したという。「せっかく『PCA給与X』を使っ

ているのだから、連携させて給与処理をよりスムーズにできる方法はないか?時間も紙も無駄にしないで、ワンストップで処理できる方法があるのではないかと考え、PCAの販売パートナーであるリコーへ相談しました」

リコーの担当者からは「ワンストップで処理できる」という返答があった。それが『Zaion』+『就業管理クロノス』+『PCA給与X』+『Web給金帳』の勤怠管理・給与計算・給与明細ペーパーレスシステムだった。平成24年7月に導入し、現在13事業所すべてで稼働している。

導入後の効果

○『PCA給与X』によって100通りの勤務区分をスムーズに処理

現在、一燈会では次のような流れで“ワンストップの給与処理”を行っている。①スタッフは出退勤時にはICカードを『テレタイム Winレコーダー(タイムレコーダー)』にかざし、『Zaion』で勤怠を管理。②勤怠データは『PCA給与X』に取り込まれ自動的に集計、給与計算。③給与明細は『Web給金帳』によって各施設のパソコンや複合機から確認・印刷。

このシステムによって、各施設長が管理部にタイムカードを届けなくなり、また給与明細をわざわざ取りに来る必要もなくなった。管理部も450名もの給与明細の袋詰め処理は行わなくてもよくなった。

同法人の場合、勤務区分は約100通りにも及ぶ。夜勤や残業などの計算も複雑で、介護職については「スタッフの数だけ勤務区分がある」といってもよいほどだ。岡本氏が「柔軟性が非常にある」と評価しているように、『PCA給与X』では支給・控除項目に四則演算が設定できる計算式を使える。また複数の計算式で使用する条件式なども、あらかじめ計算式テーブルとして登録しておくことができ、様々なパターンの計算式に対

応できる。

「計算式について不明点がある場合は、PCAへ問い合わせています。実際にかなり複雑なシフト計算のスタッフも多いのですが、まったく問題なく『PCA給与X』で処理できています」(管理部 給与担当者)

○ワンストップの給与処理によって、チェックにかかる時間を増やせた

勤怠管理・給与計算・給与明細ペーパーレスシステムをワンストップで処理できるようになったことで、最初の目的通り、確実に時間と紙の無駄が省けたと岡本氏は語る。

「給与明細をwebで出力できることは、施設長だけでなく働いているスタッフにとっても便利です。例えば源泉徴収票は住宅ローンを組むときなど、頻繁に必要になります。そのたびに管理部に問い合わせなくても、各施設の複写機から自身のIDとパスワードを入力することで簡単に出力できます。以前は専用紙を使用していましたが、現在は

その分の経費も抑えられています。なお、今でも施設長がスタッフに手渡ししている施設もあり、柔軟に現場の判断に任せています」

時間の効率化は、給与処理をより確実化することにも繋がっている。「今も給与処理については2名で3日間の時間を使っていますが、ただし、以前は作業だけで手一杯だったのが、現在は確認作業に時間をとれるようになりました。そのためミスもかなり軽減しています」(岡本氏)

○『PCA社会福祉法人会計V.3』なら、事業形態に沿った事業区分が可能

一燈会では『PCA社会福祉法人会計V.3』も導入している。会計担当者は『PCA社会福祉法人会計』の印象を、「一言でいうなら自由度が高い点」と評価している。「科目の登録や事業区分の設定が比較的自由にできる点はとても助かっています」(管理部 総務課 会計担当 小縄香保里氏)



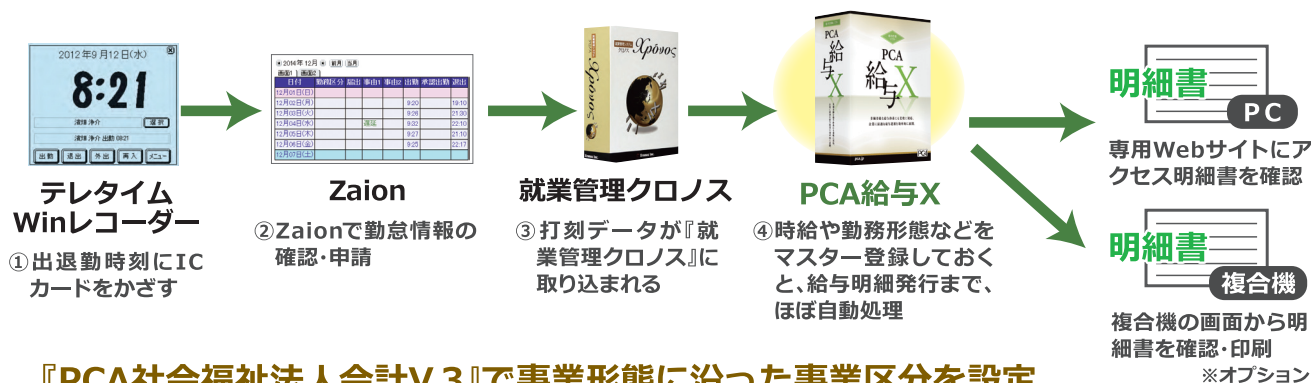
係の方を呼んでくれる受付のロボット



かわいいオブジェなどが飾られている明るいオフィス

システム概況図

『PCA給与X』を中心に給与明細までワンストップで処理



『PCA社会福祉法人会計V.3』で事業形態に沿った事業区分を設定



- ① 事業形態にあった事業区分を設定可能
- ② サービスを登録すれば「サービス別集計」が可能。サービスを拠点としてグループ登録すれば、「拠点別集計」や各帳票の出力も簡単。

PCA社会福祉法人会計V.3

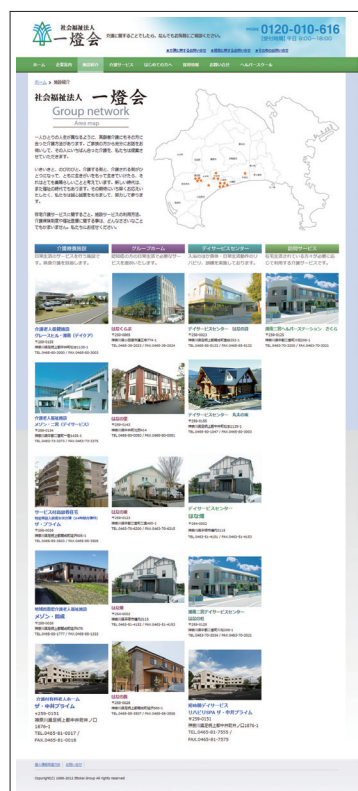
今後は…
『PCA人事管理X』との連携を視野に入れ、さらに効率的な人事管理を検討中



一人ひとりの人生が異なるように、高齢者介護にもその方に合った介護方法があります。ご家族の方から充分にお話を伺いして、その人にいちばん合った介護を、私たちは提案させていただきます。

いきいきと、のびのびと。介護する側と、介護される側がひとつになって、ともに生きがいをもって生きていけたら、それはとても素晴らしいことと考えています。新しい時代は、また福祉の時代でもあります。その期待にいち早くお応えいたしたく、私たちは誠心誠意をもちまして、努力して参ります。

在宅介護サービスに関すること。施設サービスの利用方法。介護保険制度や福祉医療に関する事は、どんなささいなことでもかまいません。私たちに任せください。



社会福祉法人 一燈会 HP
http://www.ittokai.or.jp

非営利系の会計ソフトの場合、定型化されたパッケージソフトになりがちだが、PCAでは科目や事業区分の設定に応用が利くため、より事業形態にふさわしい設定ができる。

また、同法人の場合、予算帳票など施設ごとにExcel®で出力し、独自のフォーマットでまとめた内容を理事への報告資料としており、次のような意見もいただいた。

「社会福祉法人の決算は、行政への報告も大事ですが、同様に理事など関係者への報告も大切で、経営判断に役立つものでなければ意味がありません。しかし決算書は分かりにくい面もあります。そこで、施設ごとの決算の要約(サマリー)のような帳票も、容易に出力できるとよいですね」(小縄氏)

○『PCA社会福祉法人会計V.5』ではより便利な機能を追加

一燈会では本年度から新会計基準を導入していく予定で、『PCA社会福祉法人会計V.5』へのバージョンアップもそのタイミングを想定している。

『PCA社会福祉法人会計V.5』では次のような新機能が追加されている。①一括配賦処理:月末などに決まった配賦がある場合は、配賦パターンをあらかじめ登録できる。②銀行振込機能の強化:銀行振込対象仕訳に対する支払仕訳を自動化。③分析機能の強化:科目別拠点残高一覧表・科目別拠点予算管理表・科目別拠点残高推移表・4年前の5期まで遡って比較できる比較財務諸表。

また減価償却の間接法への対応や、振替伝票入力で内部取引取消仕訳を簡単に登録できるようになっているなど、他にも様々な便利な機能が揃っている。

今後の展望と課題

○現状のシステムを見直し、新システム導入によるメリットを具体的にイメージ

一燈会では、今回の勤怠管理システムの導入について、まずは以前のシステム環境そのものをじっくり見直すところから始めたという。「導入費用は決して安くはない金額ですから、経費をどのように削減できるかを検討してみました。すると以前のシステム環境の無駄も見えてきたのです。新しいシステムの導入を迷っておられる法人や企業の場合、まずは現状のシステムをよく見直し、新たに導入するシステムがもたらすメリットとの差を、じっくり比較してみるとよいと思います」(岡本氏)

一燈会では今後『PCA人事管理』の導入も視野に入れ、よりスタッフが安心してキャリアを積んでいける環境づくりも考えている。スタッフへのiPadの配布など、積極的に新しいものを取り入れており、スタッフが生き生きと働けるためのワークライフバランスにも配慮している。すべては利用者であるお年寄りが満足できるサービスへと還元するためだ。そのためにもPCA製品による業務の効率化には期待が寄せられている。

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。



豊かな生活環境の中で活気ある生活を

介護施設の複雑なシフトを自動的に登録。
勤怠管理から給与計算までほぼ自動化し、
管理部門に時間的・心理的な余裕ももたらす
勤怠管理システム

社会福祉法人京都社会事業財団 介護付有料老人ホーム ライフ・イン京都

京都市西京区の緑豊かな高台に位置する介護付有料老人ホーム「ライフ・イン京都」。同じ法人である京都社会事業財団内には医療機関も多く、緊密な医療連携や 24 時間見守り体制など質の高いサービスを提供している。このような昼夜を問わない介護の現場では、多様な資格を持つスタッフが、様々な勤務体系で従事している。これらの複雑な勤怠を管理するために導入されたのが『PCA 給与』と『就業管理クロノス※1』だ。現在 1.5 人日の管理で 180 名ものスタッフの勤怠管理が実現できている。その成功理由を伺った。

導入システム

- ・ PCA 給与 X システム B ・ PCA 減価償却 V.3 ・ PCA 人事管理 9 システム B
- ・ 就業管理クロノス（300 人制限スタンドアロン）※1 ・ テレタイム X-F ※2

導入の狙い

- ・シフトの種類が多く、確認作業に時間がかかる点を改善したい。
- ・蓄積した5年間の勤怠データをそのまま使っていきたい。
- ・余裕を持った給与事務を行いたい。

導入効果

- ・シフト勤務自動スケジュールソリューションによって、複雑なシフトを自動的に登録・スケジュールリング。
- ・『就業管理たんぽぽ※3』から『就業管理クロノス』への移行なら、勤怠データをスムーズにコンバート。
- ・『PCA給与X』なら、慌てずに焦らずに余裕を持った給与処理が可能。

プロフィール

社会福祉法人京都社会事業財団
介護付有料老人ホーム
ライフ・イン京都

- 所在地: 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
- 施設の設立年月日: 昭和61年11月25日
- 従業員数: 180名
- 事業内容: 介護付有料老人ホーム
- ライフ・イン京都 本館戸数: 226戸
- 併設ケアセンター: こすもす11室／ひまわり71室
- URL: <http://www.lifeinkyoto.com>

□ホーム概要

ライフ・イン京都は、社会福祉法人京都社会事業財団が、京都市西京区桂の地に設置運営する介護付き有料老人ホームです。介護保険制度における「特定施設入居者生活介護」事業者指定を受け、介護が必要となられた入居者に対しては、介護保険法の基本理念である入居者の自立支援を旨とした各種の介護サービスを提供もっています。京都市内を一望する高台に位置し、竹林の緑に囲まれながらも、京都市街への交通の利便性に恵まれた立地条件と協力医療機関である京都桂病院との緊密な連携を基に、ご入居者の皆様の信頼とご協力を得て築かれてきた、豊かな生活環境と28年にわたる運営実績を誇りとしています。

また、平成17年11月にはケアセンターひまわりを増築し、常時介護を必要とされるご入居者にも、安心してお住まいいただけるための介護・看護体制の構築に向けてスタッフ一同全力で取り組んでいるところです。

※ 1)『就業管理クロノス』、2)『テレタイムX-F』、3)『就業管理たんぽぽ』は、クロノス(株)の製品です。



ライフ・イン京都
管理課 システム管理係
國本 勝樹 氏



京都市西京区桂の本館にて取材

導入前の運用と課題

○介護の現場における複雑なシフト管理を、確実に処理したい

京都市内を一望できる丘の上に、斬新な意匠でそびえる介護付有料老人ホーム「ライフ・イン京都」。308戸の規模を誇り、元気な高齢者から介護を必要とする人まで入居できる体制を整えている。同ホームでは、約180名の職員・スタッフが従事しており、非常に手厚いサービスが高く評価されている。

ライフ・イン京都では、かなり以前からPCA製品が導入され、平成21年からは勤怠システムとして『就業管理たんぽぽ』も利用されてきた。しかし当時のシステムでは、まだ不十分な点があったと管理課システム管理係 國本勝樹氏は振り返る。

「介護の現場はとにかくシフトの種類が多く複雑です。常勤のスタッフはある程度処理しやすいのですが、パートスタッフの場合はシフトも頻繁に替わり、夜勤などは時給も変わってきます。このシフト管理の部分に関しては手作業での集計になるため確認作業に時間がかかり、また集計ミスリスクもありました。その点をまずは何とか解決したかったのです」

導入後の効果

○Excel®で複雑なシフトを自動的に登録・スケジュールリング

この複雑なシフトを管理するために、平成23年から新たにシフトを簡単に取り込みできる連携を行った。これは各部署のシフトをExcel®にまとめデータ変

換し、就業管理システムに読み込ませるだけで勤務予定データを自動登録できる仕組みだ。病院や老人ホームの場合ならば、早朝・夜勤・深夜勤などのシフトを、あらかじめ条件を登録しておくことで、それを基に自動的にスケジュールが作成される。

「シフトデータを自動登録できたことで、業務は大幅に楽になりました。勤怠時間の確認作業に費やす時間がかなり減りましたし、同時に間違えるリスクも減りました」

○職員・スタッフの資格取得のためにも確実な勤怠管理が必要

國本氏が職員・スタッフの確実な勤怠管理にこだわる理由は、単に給与計算のためだけではなく、介護施設ならではの理由がある。それは実務日数の確実な集計処理だ。例えば介護士として入職した人の場合、3年以上の勤務実績があれば介護福祉士の資格試験を受けることができる。社会福祉士やケアマネジャーも同様に介護の実務経験の日数が問われる。そのため実務日数を確実に管理し、実務証明書を作成するためにも確かな勤怠管理が必要だった。

「かつては実務日数についてタイムカードで日数を数える処理を行っていた時期もあります。しかし『就業管理たんぽぽ』の導入によって、実務日数をスムーズに出すことができるようになりました。現在の勤怠管理システムについて、正式に職員の声をヒアリングしたわけではありませんが、おそらく確実に日数も時間も管理されていることで、安心している人が多いと考えています」

平成25年10月からは勤怠管理を『就業管理たんぽぽ』から『就業管理クロノス』へ移行。同時に『PCA給与9』から『PCA給与X』へのバージョンアップも行った。移行の際に気になっていた点は、過去の勤

怠の履歴が完全に移行できるかということだった。先述した職員・スタッフの資格試験のための実務日数の記録はもちろんのこと、雇用保険などの手続きについても、迅速に対応したかったからだという。

『就業管理たんぽぽ』には平成21年からの約5年分の180名の勤怠データが蓄積されていました。かなりのデータ量でしたが、問題なく『就業管理クロノス』へ移行でき仕事もはかどっています。過去の勤怠データをそのままシステムにコンバートできる点は非常に助かりました。実務証明書の発行も雇用保険の手続きも素早く行えます」

○1人でもわずか1日半の時間で、180名分の勤怠管理・給与計算が可能に

給与計算については以前は『就業管理たんぽぽ』の勤怠データをExcel®出力し

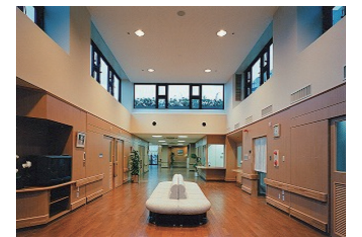
資料を作成。それを社会保険労務士へ送り給与計算を依頼していた。しかしこの方法では資料を作成する段階で、どうしてもミスが発生しやすかった。

「『就業管理たんぽぽ』の勤怠を基に、また新たに提出用の資料を作っていたのですが、間違っって表を作成することもありました。そこで平成24年1月に『PCA給与9』の使用を開始しました。『就業管理たんぽぽ』のデータをそのまま『PCA給与9』へ連動できるので、資料作成時の人為的なミスの発生を心配することはなくなりました」(國本氏)

現在、職員・スタッフはIDカードを兼ねたICカードを出退勤時に『テレタイムX-F』(タイムレコーダー)にかざす。するとその勤怠データが『就業管理クロノス』に取り込まれ、そのデータは『PCA給与X』へと移行。その後は迅速に給与の支払い処理へと進む。



ケアセンター ひまわり



ケアセンター こすもす

システム概況図



テレタイムX-F
出退勤時刻にICカードをかざす



複雑なシフト管理を自動登録



就業管理クロノス

CSVファイル

職員の食費、時間外申請時間、介護職員処遇改善加算などのデータ



PCA給与X

給与資料

クロノス勤怠データを基に作成した資料でチェックする(データの確認、イレギュラーな点等)



本館ロビー



ライフ・イン京都 HP
http://www.lifeinkyoto.com/

「勤怠データは毎月16日に締めます。現在も紙媒体での勤怠データのシートは作成しており、上司に提出しているのですが、18日には上司から承認をもらっているの、約1日半で180名分の勤怠管理・給与計算ができています。なお『PCA給与X』を利用して、給与事務を私が1人で担当しているのですが、わずか1日半で180名分の勤怠管理ができています。」

○あらゆる業種に対応でき、業務の心理的負担も軽減できるPCAの勤怠管理システム

國本氏は以前、ソフト開発に携わっていた経験があり、ライフ・イン京都のホームページ作成などIT関連全般も担当している。パッケージソフトを見る目も、使う側・提供する側の2つの視点で見ることができる人物だ。そのような経歴をお持ちの國本氏に『PCA給与X』についての率直な感想を伺った。

まず、入力のしやすさやわかりやすさなどのインターフェイスの部分で問題がなく、給与事務や経理経験がなく、ITにあまり強くない人でも使いやすいオペレーションに優れた点がPCAソフトの特長だという。また、PCAの勤怠管理システムによって、業務に余裕が生まれ、それは「慌てなくてもよい、焦らなくてもよい」という心理的な負担の軽減にも繋がっているという。

「例えば職員の食費や介護職員処遇改善加算など勤怠と関連しない部分の給与データを、事前にCSVデータとして作成しておき、それを『PCA給与X』に読み込んで計算させています。これらを給与計算

時に給与システムに入力するとなると、人数も多いですしそれなりの時間がかかってしまいます。しかし先にCSVデータを作成しておけば後は『PCA給与X』で自動計算してくれますからね。慌てる必要がないのです」

『PCA給与X』をさらに使いやすいソフトにするためのご意見として、セキュリティをより強固にするためにメニューにあるロック機能の向上や、マスター読み込みが以前のように柔軟性があるとよいと語る。「全般的にはPCAの勤怠管理システムには満足しています。介護施設や病院だけでなく、あらゆる業種に対応できるシステムだと思います」

今後の展望と課題

『PCA給与X』の特性をうまく使いこなしている國本氏だが、現在、社会保険労務士に委託している年末調整や社会保険業務を、今後はなるべく管理課で行っていききたいそうだ。ライフ・イン京都は職員・スタッフの働きやすい環境にも力を入れており、離職率がきわめて低い。

しかし管理部門に人員を割くことはなかなか難しく、少人数での管理が必要となる。そのためにもPCAの勤怠管理システムの位置づけは大きくなるという。「現在、PCAの勤怠管理システムなしでは業務がなりたたないほどです。今後も少人数での管理部門を支援していただけるようなシステムを期待しています」



新々会計基準の概念に柔軟に対応する
『PCA 公益法人会計クラウド』。
ランニングコスト削減にも成功

公益社団法人



全国ビルメンテナンス協会

全国に 9 つの地区本部を持つ公益社団法人全国ビルメンテナンス協会。平成 20 年の公益法人会計基準の改正をきっかけに、『PCA 公益法人会計 クラウド』へと切り替えた。当初はランニングコストが抑えられる点が選ばれた理由だったが、クラウドならではの安心感、そして新しい会計基準の概念に照らし合わせたわかりやすい会計の仕組みが好評だ。なぜ『PCA 公益法人会計』が人気なのか、その理由に迫った。

導入システム

・ PCA 公益法人会計 V.11 for SaaS (5CAL)

導入の狙い

- ・ 現行ソフトでは平成 20 年の公益法人会計基準改正への対応が困難。
- ・ 新ソフト導入の初期費用は安く抑えたい。
- ・ 本部と地区本部が情報を同レベルで共有したい。

導入効果

- ・ 『PCA 公益法人会計』は新しい会計基準にも対応。
- ・ クラウド利用の会計ソフトのため初期費用を大幅に削減。
- ・ クラウドのため本部と地区本部の双方がつねに同じ情報を確認・共有できる。

プロフィール

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会
Japan Building Maintenance Association(略称 JBMA)

□所在地：〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5 丁目 12 番 5 号
ビルメンテナンス会館 5 階

□従業員数：26 名

□設立年月日：昭和 41 年 1 月 24 日

□社団法人認可年月日：昭和 41 年 10 月 20 日

□公益社団法人設立年月日：平成 23 年 6 月 1 日

□企業 URL：http://www.j-bma.or.jp

全国ビルメンテナンス協会
正面玄関



【全国ビルメンテナンス協会とは】

- 全国ビルメンテナンス協会とは「建築物の快適な環境の確保」という社会的要請に応える公益団体として、内閣府より認定された公益社団法人です。
- 建築物衛生法に基づく登録業者の団体として、厚生労働大臣から指定を受け業界の資質向上のための各種事業を実施しています。
- 技能検定の試験業務実施団体として、厚生労働大臣から指定を受け、ビルクリーニング・ビル設備管理技能検定試験を実施しています。
- ビルメンテナンスに関する各種業務の調査・研究を実施しています。
- 雑誌や各種書籍、あるいは3つのインターネット・サイトを用いて、ビルメンテナンスに関する専門的情報を提供するとともに、知識の普及に努めています。
- 「ビルメンヒューマンフェア」などの各種イベントを開催し、情報交換や資質向上に努めています。
- 「世界ビルサービス連盟」並びに「アジアビルメンテナンス連盟」に加盟し、ビルメンテナンスに関する国際的な交流と技術の向上に協力しています。
- 各種講習会や研修会、セミナーを開催し、業界の資質の向上に努めています。
- 各種業務ごとに研究会を設け、技術・知識の標準化やデータの収集など、調査・研究に努めています。

※1) 2012年10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。



公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会
管理部経理課 斉藤 晶美 氏

全国ビルメンテナンス協会は
47都道府県の
ビルメンテナンス協会と
連携しています。



導入前の運用と課題

○コストをかけず、新会計基準に対応できるソフトを

同協会では『PCA 公益法人会計 クラウド』※1 を導入する前、2 種類の他社の会計ソフトを使用してきた。まずはパソコンが一般的に普及し始めた頃に導入した会計ソフトを経て、次に平成 16 年の公益法人会計基準改正をきっかけに新しい会計ソフトへ切り替えた。

同協会は全国に 9 つの地区本部を抱えており、それらの会計処理も本部で行うことになったため、ネットを利用した ERP パッケージの会計ソフトを導入したそう。当時はネット環境も十分整い、使い方もわかりやすく便利だったという。しかしあえて『PCA 公益法人会計 クラウド』に切り替えたのは、平成 20 年の公益法人会計基準の改正が大きな契機だった。

「以前使っていた会計ソフトでは、平成 20 年改正の公益法人会計基準について十分な対応ができないことがわかりました。まったく不可能ではなかったのですが、新会計基準に対応するためのバージョンアップに 100 万円以上のコストがかかることがわかったのです。この高額なコストには理由があって、そのソフトを使用しているユーザー数が少ないため、バージョンアップが保守でまかないきれないという説明でした。加えてサーバー設置の問題もありました。サーバーの耐用年数からいっても 5 年ほど経てば、また買い替えのための費用がかかります。いか

にコストを抑えて、かつ平成 20 年会計基準に対応できるソフトを導入するか、検討する必要がありました」(管理部 経理課 斉藤 晶美氏)

導入後の効果

○大幅なランニングコスト削減に成功

新ソフト導入にあたって、「ランニングコストが抑えられる」「平成 20 年会計基準に対応」という条件以外に、他部署からは「全国 9 つの地区本部で情報が同じレベルで保たれること」も要望されたそう。そこで選定されたのが『PCA 公益法人会計 クラウド』だ。「選定の条件をクリアしているだけでなく、よく会計士さんから PCA の名前は聞いていました。ネームバリューが全てではありませんが、やはり知名度に対する安心感もあったことは事実です」

では、実際にランニングコストはどうなったのだろうか？「仮に以前のソフトのバージョンアップならば、バージョンアップ費用 100 万円以上+サーバーの維持費保守料でした。しかし『PCA クラウド』では公益法人会計ソフトが約 56 万円(年間)のみ。バージョンアップ費用もサーバーの設置費用もかかりません。以前は保守料だけでも年間 60 ～ 70 万円必要でしたから、実際ランニングコストは大きく削減できました」

○クラウドでの入力処理にストレスは無し

当初「クラウド」の概念が、今一つわかりにくかったと語る斉藤氏だが、導入への不安はなかったという。「クラウドは雲という意味ですが、まさに雲をつかむように、いまだにぼんやりとわからない部分もあります（笑）。しかし当協会の場合は、以前もネットを利用した会計システムだったので、その点では大きな不安はありませんでした。そのため『PCA クラウド』にはすんなりと移行できたわけですが、実際に処理スピードの速さには満足しています。PCA の会計ソフトの特性も影響しているのかもしれませんが、以前のソフトは処理に少し時間を要し、フリーズすることもありました。しかし PCA の会計ソフトは処理時間が短く、私が知る限りではフリーズしたこともありません」

Excel® でのデータ出力についても非常に便利だと語る。「自分が使用する目的に沿ったデータだけを選んで、それを Excel® に落とすことができます。現在、本部と地区本部を含め、9 箇所合計 13 ～ 14 名の者が会計処理を担当していますが、この仕組みはとても便利に使っています。セキュリティの権限も細かく設定できるため、経理以外の者も情報を誤って書き換えることがないため安心して見ることができます」

○新会計基準に便利な事業の集計

平成 20 年改正の新会計基準では、以前の公益法人の会計基準と比較して、会計の概念や考え方そのものが大幅に変わったという言い方をする人も

多い。『PCA 公益法人会計』が他社ソフトと大きく異なる点は、この大幅な概念の変更への対応力だともいえるだろう。その点を斉藤氏が非常にわかりやすく説明してくれた。「仮にマンションに例えると、以前は 1 事業つまり 1 室があり、その 1 室ごとの賃貸状況を見ることが優先されてましたが、新会計基準では 1 室ではなくマンション 1 棟の経営状況が問われるような感覚です。PCA では事業別の集計が可能でグループ登録もできます。ミスがある場合も 1 つの事業を修正すれば、それを全体に反映させられ、新しい会計基準で考えた場合にとっても便利に使えますね」

今後の課題と展望

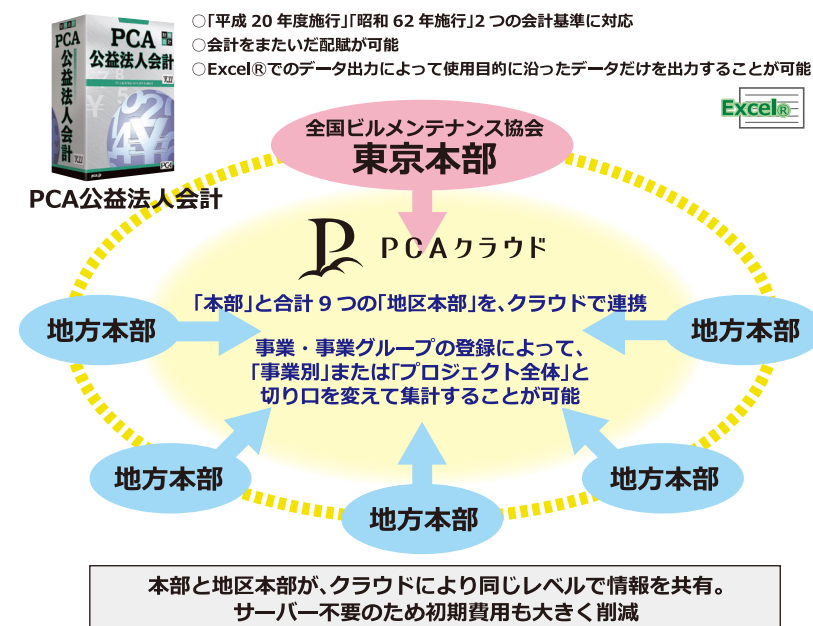
○行政からの要望にも迅速に対応できる環境



「クリーンクルー」マスコットキャラクター

- ★公益社団法人全国ビルメンテナンス協会は、斯業界イメージアップの一環として公募により、平成 3 年 7 月から「ビル清掃員」の新ネーミングとして「クリーンクルー」に決め、あらゆる場面で名称普及に努めてきました。
- ★また、平成 7 年に「クリーンクルー」のマスコットキャラクターも公募により決定しました。
- ★さらに、平成 19 年 3 月にマスコットキャラクターの愛称を公募により、応募総数約 1 千の中から決定しました。その名も「ピカタン」。

システム概況図





全国ビルメンテナンス協会 公式HP
http://www.j-bma.or.jp

サイト内の「ビルメンアビリティセンター」では、検定や講習会の案内が公開されており、オンラインでの申請も可能です。



ビルメンアビリティセンター HP
http://study.j-bma.or.jp/study/

ビルメンテナンスに役立つ資格試験や技能向上をはかる、能力アップの資格サイトです。

「点数を付けるなら 80 点」と概ね好評の『PCA 公益法人会計 クラウド』だが、「半期ごとの決算がもっと効率良くできるとたいへん助かりますね。半期特有処理の 1 例として、通常の処理を行った後に決算期と同様の棚卸処理（月々の支払い時は、全額を費用計上して、棚卸の時に在庫分の原価を費用からマイナスして棚卸に振替）を行う必要があります。この様な作業は毎月ではないため、確認や修正に時間がかかりますのでもっと早く半期財務諸表を作成する方法がないか考えています。

また、自動仕訳についても設定が少しわかりにくいので、もっとダイレクトにできる方法があるとうれしいです。」と斎藤氏は話す。なお、決算については「PCA の良さを再確認できたポイントがあります。『PCA 公益法人会計』では「決算仕訳」を利用して処理を 3 段階に分けることができます点です。決算処理には段階がありますので、段階を進んでから前の処理に修正・追加等が生じたときに、ソフトの機能として 1 段階しかできないものだと、最初から全て見直さなければなりませんが、3 つの段階に分けることで最初から同じ作業を繰り返さなくても済みます。1 段階目の処理の途中で、別の人間が 2 段階目の処理を「決算仕訳 2」を利用して始めれば時間の短縮にもなります。なので計画的・段階的に決算処理を進めるにはとても良いソフトですね」

公益法人の会計基準改正にともない、使用ソフトの切り替えを検討している法人は多いだろうが、何を基準に選ぶとよいのかを斎藤氏に助言していただいた。「今回の会計基準の改正によって収支計算書の添付は不要になりました。しかし行政庁が収支計算書を確認したいと要望してくることはあります。『PCA 公益法人会計』では最初に設定しておけば、収支計算書もすぐに集計・出力することができ、求められた場合にすぐに提出できるのは便利でしょうね。また当協会のように全国に拠点を持つ公益法人も多いと思いますが、地方の事務所は少人数の場合が多く、会計処理の負担は重くなりがちです。クラウドであれば本部で容易に処理でき、本部と地方の双方で確認し合うことでミスの発見や修正にもスピーディーに対応できます。最初はお互いに見られる気分はどうかと思いましたが、本部も地方もお互いがかえって安心できるというのが結論です。私も現在の社会が期待するビルメンテナンス業の在り方を考えていくことが事業の柱ですから、毎日の事務処理の負担を少しでも軽減し、その分その在り方を追求していきたいですね」

クラウドの便利さを実感できた同協会では、『PCA 公益法人会計』との連携を視野に、今後は『PCA 給与』なども検討していくそう。



共に。

一般社団法人
北海道建築士事務所協会

『PCAクラウド』で道内 20カ所の
本部・支部をネットワーク化。
連結決算・消費税集計の迅速化も実現

一般社団法人 北海道建築士事務所協会

広大な北海道内に本部を含め 20 カ所の拠点を持つ一般社団法人 北海道建築士事務所協会。数百キロも離れた各支部の会計処理をスムーズに行うため導入されたのが『PCA クラウド』による『PCA 公益法人会計 V.10』だ。平成 20 年の公益法人会計基準変更については、前もって慎重に準備を進めていた同協会だが、新たに導入したクラウドの利便性は想像以上に大きかったと語る。クラウドがもたらした業務の効率化や安心感、そして『PCA 公益法人会計 V.10』ならではの業務の便利さなどを伺った。

導入システム

・ PCA 公益法人会計 V.10 for SaaS (同時 20CAL)

導入の狙い

- ・各支部が単独で会計処理を行っており、連結決算時の処理に時間がかかる。
- ・独自サーバーによるネットワーク化はコストがかかる。
- ・会計に詳しくない人が会計処理を行うこともあり、ミスなども起こりやすい。
- ・消費税集計に時間がかかる。

導入効果

- ・『PCA クラウド』によって計 20 カ所の本支部をネットワーク化。連結決算時の処理を効率化。
- ・『PCA クラウド』は初期費用がほとんどかからない。
- ・本部と支部がリアルタイムで情報共有できるため、ミスの発見・修正も速い。支部の inputs を本部で行うことも可能。
- ・『PCA 公益法人会計 V.10』の消費税集計では課税・非課税の確認が自動的にでき、事業ごとや単独あるいは合算での集計も取りやすい。

プロフィール

一般社団法人 北海道建築士事務所協会

□所在地：

【本部 / 札幌支部】：〒060-0042

札幌市中央区大通西 5 丁目 11 大五ビル 6 階

【全道 19 支部】：札幌、函館、桧山、後志、小樽、空知、旭川、
名寄、留萌、宗谷、網走、北見、紋別、室蘭、
苫小牧、日高、十勝、釧路、根室

□職員数：本部 6 名 / 19 支部 42 名

□設立：昭和 27 年

□URL：http://www.do-kjk.or.jp/

【法定団体の役割】

一般社団法人北海道建築士事務所協会は平成 21 年 1 月 5 日に建築士法第 27 条の 2 に規定する法人として法定化され、法定団体として建築士事務所の業務の適正な運営と建築士事務所に設計等を委託する建築主の利益の保護を図ることを目的とした役割、責任を担っております。

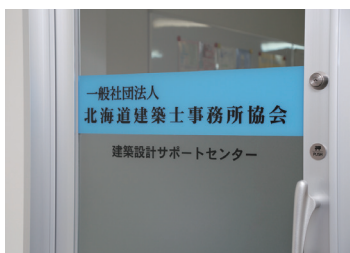
【一般社団法人 北海道建築士事務所協会の活動】

- 建築士事務所の管理建築士講習の実施
- 建築士事務所の所属建築士定期講習の実施
- 住宅金融支援機構「適合証明技術者業務講習」の実施
- 各種講習会・セミナー・見学会の実施
- 耐震診断等評価業務
- 建築相談調査会業務
- 12 条定期報告の受付業務
- 会員への情報提供
- 会誌の発行
- 北の住まい住宅設計コンペの実施
- 行政機関との協議
- 会員親睦行事の実施
- 仕様書類の販売
- 協会へのお誘い

※ 2012年 10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。



一般社団法人
北海道建築士事務所協会
本部事務局 総務課長
宇賀谷 潔 氏



本部事務局／札幌支部にて

導入前の運用と課題

○各支部による単独の会計処理

昭和 27 年に設立された一般社団法人 北海道建築士事務所協会では、設立時から平成 12 年まで手書きによる会計を行ってきた。平成 12 年に『PCA 公益法人会計 EX-V』を導入。各支部を含めたすべての拠点で『PCA 公益法人会計 EX-V』を使用し、毎日の収支計算や伝票入力などの会計業務を行ってきたが、連結決算に関しては手計算のままだった。

「以前は各支部に『PCA 公益法人会計 EX-V』を導入し、それぞれの拠点がスタンドアロンで会計処理を行い、連結だけは本部でまとめて処理していました。しかしこの連結作業が課題で、各支部から決算書が送られてくるのですが、それを Excel® データにし科目ごとに集計を出すため手間と時間がかかっていました。また、北海道内の主な市に 19 ケ所の支部を抱えており、専用の事務局がある支部、自社建築士事務所と支部の事務局と兼務している支部があり、会計処理の方法等が充分理解されていない等、連結決算作成時には若干の問題がありました」（総務課長 宇賀谷 潔氏）

そこで PCA の担当者に相談したところ、各支部をネットワークで繋いで会計処理を行う方法を提案されたという。ただし独自でサーバーを設置した場合は維持費がかかる。5 年程度使用すると買い替えも検討しなければならず、管理者も必要になって

くる。そこで『PCA クラウド』を紹介され、その便利さに興味を持ったそう。折しも平成 20 年の公益法人会計基準の変更もあり、新会計基準への対応もかねて平成 23 年 1 月に『PCA 公益法人会計 V.10』を導入。『PCA クラウド』によって本部と全支部を繋いだ。

導入後の効果

○数百キロ離れた支部をクラウドで繋ぐ

『PCA クラウド』の導入によって、大きな負担となっていた連結作業は大幅に効率化できた。「まず手書きの作業がなくなった点はとても意味があります。連結業務にかかる時間がかなり短縮し、科目についても本部・全支部ともすべて同じ設定になっているため間違えようがありません」

クラウド利用のメリットは他にもあるという。「情報を共有できるため、支部の入力内容に不明点があれば、本部から支部に確認の連絡をすぐに入れることができます。この支部は仕訳をまだやっていないなどのチェックや各支部の残高も、数百キロ離れた札幌の本部から確認できます。支部で行う入力を本部でもできるので、経理に詳しくない人が入力する場合などは本部のスタッフが助けることも可能です。これらは以前ならできなかったことで、クラウドを導入したからこそ可能な業務です」

○消費税集計の迅速化

す。以前はこれらを手作業で確認するしかなかったのですが、今は自動的に確認できます。消費税集計が迅速化できたことも、今回のシステム導入の大きなメリットですね |

支部から寄せられる質問として、按分の仕方を問われることが多いそうだ。『PCA 公益法人 V.10』では按分率をあらかじめ登録しておくことができ、そのため配賦入力もしやすい。

【建築相談・調査業務】
皆様の快適な暮らしを支援するため、建
築の相談・調査を行っています。

『PCA クラウド』によって、同協会では本部を含め 20 カ所の拠点から同時接続・同時入力が可能になった。約 2 年間クラウドを利用してきて、スピードなどに一切不満はなく、ストレスフリーに利用できていると語る。「回線状況に関しては問題ありま

平成 23 年 1 月
からクラウドへ
全面移行

- 当初の問題であった連結決算の処理を、
迅速かつ正確に行えるようになった。

PCAクラウド

十勝支庁

網走支部

紋別支部



一般社団法人
北海道建築士事務所協会 HP
<http://www.do-kjk.or.jp/>

せん。処理スピードも速いですし、システムがダウンしたこともありません。非常に安定した環境の中で利用しています。実はクラウドの導入を検討したときに、道内の支部の一部がまだ ADSL 回線でした。そこで販売店さんが頑張ってください、全支部が光回線の状態でクラウドを導入することができました。先ほども申しましたが、単独で会計処理を行っていた時は各財務諸表の集計に相当時間を費やしていましたが、クラウドによって瞬時に、かつ正確に出力できるのは助かります」

このようにクラウドによる会計業務の効率化によって、同協会では会計業務に携わる本部スタッフは 1 名だ。「アクセスの権限は細かく設定しており、セキュリティの点でも不安はなく、1 名のスタッフで十分対応できています。スピーディーかつ少人数で処理ができるのも、クラウドの利点だと考えています」

への移行については、前もって時間をかけて準備しており、特に問題はありませんでした。そのため今回の新システム導入では、PCA の公益法人会計ソフトの新会計基準への対応力はもちろんですが、それ以上に各支部をネットワーク化したことの便利さの方がやはり大きなメリットだと感じています。総会での議案書は『PCA 公益法人会計 V.10』の帳票をそのまま使うこともあります。わざわざ Excel® で出し直さなくても、PCA の帳票類は見やすいのでそのまま利用できます」

同協会では、従来の業務に加えて建築士事務所の指定登録機関としての業務や、建築物の耐震診断判定業務等、業務量が拡大している現状であるが『PCA クラウド』そして『PCA 公益法人会計 V.10』の導入により環境は整い、問題なく対応ができています。

今後の課題と展望

○業務が増えても対応できる環境を確立

同協会では会計基準変更については、変更となる 1 年前から慎重に準備を進めてきたそうだ。そのため特に混乱もなく、スムーズに新会計基準に移行できたという。「新会計基準



合併による新法人のコーポレート・ガバナンスを、
『PCA公益法人会計 V.11』『PCAクラウド』が
より強固に確実化

一般社団法人 日本建設業連合会

一般社団法人 日本建設業連合会は、平成23年に3つの団体が合併して誕生した。この合併を
機に導入されたのが『PCAクラウド イニシャル“0”プラン』だ。現在、『PCA公益法人会計
V.11』を本部と全国の9支部で繋ぎ、消費税などの会計情報の共有化に成功。膨大な数のプロ
ジェクトも確実にセグメント管理している。PCAのシステムを非常に有効に使っている同法
人だが、その成功の裏にはPCA販売パートナーの的確な導きもあったという。

導入システム

○PCA クラウド イニシャル“0”プラン (Type12 8CAL) ※

・ PCA 公益法人会計 V.11 for SaaS

○減価償却 V.3

※【イニシャル“0”プラン】初期費用なし、月額利用料のみでご利用いただけるプランです。

導入の狙い

- ・ 合併にあたり、本部と支部で会計情報の共有をはかりたい。
- ・ 初期費用やランニングコストを低く抑えたい。
- ・ 消費税の集計を簡単にしたい。
- ・ 膨大な数の事業グループやプロジェクトを的確にセグメント管理したい。

導入効果

- ・ 『PCAクラウド』により会計情報を共有化。
- ・ 『PCAクラウド イニシャル“0”プラン』なら、「初期費用0円＋ライセンス数に応じた月額使用料のみ」。
- ・ 『PCA公益法人会計 V.11』には消費税集計表の機能があり、クラウドによって本部から支部へダイレクトに消費税対応の指示を出せる。
- ・ 『PCA公益法人会計 V.11』の事業・事業グループ登録によって、膨大な数のプロジェクト管理が可能。

プロフィール

一般社団法人 日本建設業連合会

(JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS)

- 本部所在地: 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会館8F
- 支部: 北海道／東北／北陸／関東／中部／関西／中国／四国／九州
- 設立: 平成23年4月1日
- 従業員数: 95名
- 主業種: 建設業事業者団体
- URL: <http://www.nikkenren.com/>

確かなものを地球と未来に

日本の総合建設業

□日建連について:

一般社団法人日本建設業連合会(日建連)は、全国的に総合建設業を営む企業及びそれらを構成員とする建設業者団体が連合し、建設業に係る諸制度をはじめ、建設産業における内外にわたる基本的な諸課題の解決等に取り組んでいます。

※ 2012年10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。

《取材にご協力頂いた皆様》



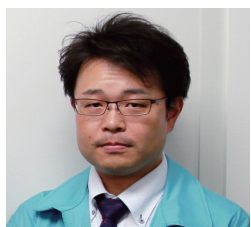
一般社団法人 日本建設業連合会
経理部長
佐瀬 美幸 氏



一般社団法人 日本建設業連合会
経理部 副参事
北浦 あずさ 氏



一般社団法人 日本建設業連合会
事務局長
鶴田 清文 氏



株式会社 シンキューブ
システムコンサルティング部 主任
中田 敏雄 氏

導入前の運用と課題

○本部と支部で会計情報を共有でき、費用も抑えられるシステムに

一般社団法人日本建設業連合会は、平成23年4月に日本建設業団体連合会(旧日建連)、日本土木工業協会(土工協)、建築業協会(建築協)の3団体が合併して誕生した。じつは合併前から3団体では、バージョンや製品形態は異なるものの『PCA公益法人会計』が導入されており、会計ソフトとしての全体的な機能は高く評価されていたそうだ。当時の印象を経理部副参事 北浦あずさ氏は次のように振り返る。

「私の場合、あまり時間がない中で前任者から会計業務を引き継いだのですが、それでもすんなりと業務に移行できました。仕訳や検索もしやすく、非常に操作性に優れた会計ソフトだという印象を持ちました」(北浦氏)

そして平成23年の合併に向けて、新システムの検討が開始された。新システムの条件である「本部と支部で会計情報を共有できること」「なるべく初期費用やランニングコストは抑えたい」のリクエストを、PCA販売パートナーである株式会社シンキューブ 中田敏雄氏に相談した。

選定のポイントと稼働までのスケジュール

○クラウドサービスにおけるPCAの実績を評価

合併後の新システム選定については、先述した「情報の共有化」「コスト面」以外に、さらに重要なポイントが2点あっ

たと事務局長 鶴田清文氏は語る。それは「コーポレート・ガバナンスの確実化」と「消費税対応」だ。

「以前は支部で会計処理を行い、本部はその結果をファックスで知るという状態でした。そのためどのような仕訳が行われているかなど、会計処理の詳細を知ることができず、ガバナンスが確立された状態とは言えませんでした。また3団体のうち消費税課税事業者は1団体のみで、合併により会費を課税にしたため各支部での消費税対応の指導も必要でした」(鶴田氏)

これらの要望を聞き、中田氏が提案したのが『PCAクラウド』だった。同法人では合併前から『PCA公益法人会計』が使われており、その操作に慣れていること。またクラウドサービスについては、PCAが一步も二歩も先駆けて展開しており、実績という面からも同法人の求めている環境に最も適していると考えたからだ。

平成23年4月1日の合併日から本稼働できるように、1月から3月までテスト期間を設け、スムーズに本稼働へと移行。現在、本部と9つの支部をクラウドで繋ぎ、情報の共有化・会計処理の確実化に成功している。

導入後のメリット

○業務量にあわせて臨機応変にユーザー数を変更

『PCAクラウド』導入によって、各支部の会計処理状況を把握し、情報を確認・共有化できたことで、業務の迅速化が進んだのはもちろんだが、「支部がどのような部分で間違いやすいかなども、目に見えてわかるようになった」と北浦氏は話す。

『PCAクラウド』はユーザー(ライセン

ス)数の変更に柔軟に対応しているが、この点も評価は高い。

「基本的にはユーザー数を決めて運用していますが、年度末の決算処理の時期には、ユーザー数を増やして対応し、業務が落ち着いたらもとのユーザー数に戻しています。業務量に応じて臨機応変にユーザー数を変更できるため、経費の面でも助かりますね」(北浦氏)

○『PCAクラウド』の安全性

なお『PCAクラウド』導入にあたって、情報漏洩や万が一の回線トラブルについて不安はなかったのかを、経理部長佐瀬美幸氏に率直に伺った。

「クラウドに関する不安や疑問は、中田さんがわかりやすく教えてくださいました。ですから私たちは安心して導入を決めましたし、導入後もセキュリティや回線のトラブルはまったく発生していません」(佐瀬氏)

『PCAクラウド』では、仮にインターネット回線が不通になっても、緊急時対応スタンドアロン版を標準添付している。同法人では独自のバックアップも行っており、万が一の事態にも備えて

いる。また『PCAクラウド』のサービス開始初年度1年間(2011.5.30～2012.5.29)の稼働率は、99.9995%と高い信頼性を確保し、その後も安定した稼働状況を維持している。

仮に本部と支部間でデータをやり取りしている際に、第三者に不正に情報をとられた場合でも、データは読み取れない形式で送信されており、サーバー接続時とソフト利用時の2段階で認証が必要になり、侵入の心配はない。

○約1000もの事業グループやプロジェクトを管理・検索・集計

同法人は手掛けているプロジェクト数が非常に多いが、『PCA公益法人会計V.11』のセグメント機能によって巧みに管理している。『PCA公益法人会計V.11』では事業名の登録、さらに事業グループの登録が可能で、事業別はもちろん、複数の事業にまたがったプロジェクトも絞り込んで検索・集計できる。実際に同法人では合併時には2800、現在も1000前後のセグメントに事業グループやプロジェクトが分かれているが、問題なく管理・検索・集計できている。

Field

確かなものを地球と未来に

人々が様々な営みを展開する「都市・地域」「国土」「地球」。私たち総合建設業は、このFieldで持てる総合力と技術力を駆使し、未来の礎となる建築物や構造物を提供します。



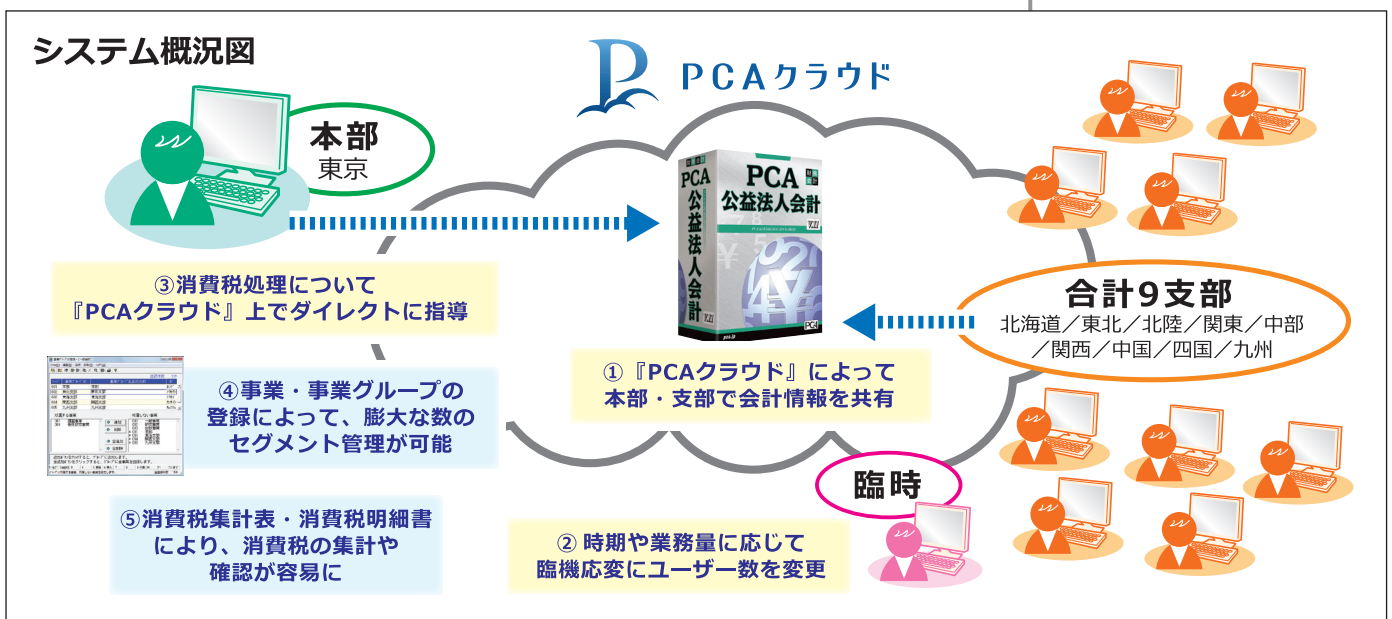
都市・地域

国土



地球

システム概況図





本部オフィスにて



一般社団法人 日本建設業連合会 HP
http://www.nikkenren.com/

人件費・共通経費などの配賦処理についても、「配賦入力画面での操作を一度覚えてしまうと、あとは本当に簡単です」(佐瀬氏)と評価されており、帳票類についても不自由な点を感じたことはないそうだ。

「会計処理については『PCA公益法人会計V.11』1本でほぼすべて完結できています。消費税の集計も非常にスムーズですね。決算書や総会用の資料などは、出力後にあらかじめ当法人で定めた形式に転記していますが、しかし基本的には『PCA公益法人会計V.11』で集計した数字です。ソフトの機能を100%使い切っているわけではありませんが、それは当法人にとって現状では必要のない機能という意味であり、必要な機能については、ほぼフルで使わせてもらっています」(佐瀬氏)

今後の課題

○PCA販売パートナーの丁寧で親身なサポート

約1000ものセグメント管理、クラウドによる遠隔地との会計情報の共有化、臨機応変なユーザー(ライセンス)数の設定など、『PCAクラウド』『PCA公益法人会計V.11』のメリットを上手に業務へ活かしている同法人だが、その成功の裏にはPCA販売パートナーである株式会社シンクキューブ 中田氏のサポートがあったからだ、と鶴田氏は語る。

「PCAのソフトやシステムは、非常に

工夫して作られており、優れた品質であることは確かだと思います。ただし、せっかくの良い製品を実際の業務に反映させられるかどうかは、親身になってサポートしてくれる人、教えてくれる人がいるかどうかが鍵を握るのではないのでしょうか。ソフトの品質はもちろん、サービスの質も重要なポイントだと考えています」(鶴田氏)

PCA販売パートナーのサポートもあり、有効にPCA製品を使用している同法人だが、目下の改善点としては年度末更新の処理時間の短縮を指摘している。

「クラウド導入後の入力処理のスピードについては、かなり改善され、今はストレスなく入力していますが、更新時間についても短縮できることを期待しています」(佐瀬氏)

2020年の東京五輪に向けて、今後、注目が高まるであろう建設業界。同法人では今後も建設業の健全な発展のため、幅広い領域にわたって情報を発信していく。

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740



大幅な公益法人制度改革がスタート！
『PCA 公益法人会計』なら、
2つの会計基準に対応

財団法人



成田国際空港振興協会

平成 20 年に大きく改正された公益法人会計基準。それに合わせて『PCA 公益法人会計』を導入した成田国際空港振興協会。導入以前は他社のソフトを長年使用していた同財団だが、より新たな基準にマッチした会計処理が可能な PCA へと切り替えた。『PCA 公益法人会計』だからこそ可能だった大幅改正への対応力とはどのような点だったのか？さらに切り替えにおいて重要視すべき点は何か？公益法人ならではの視点から語っていただいた。

導入システム

・ PCA 公益法人会計 V.12

導入の狙い

- ・ 平成 20 年の大幅な会計基準変更旧システムでは十分に対応できない。
- ・ 新システムではある程度カスタマイズできる柔軟性も欲しい。
- ・ 旧システムからの移行を問題なくスムーズに終わらせたい。

導入効果

- ・ 『PCA 公益法人会計』なら公益法人制度改革にもスムーズに対応。
- ・ 科目の修正や変更にも柔軟に対応。
- ・ 旧システムからも問題なく移行あるいは併用運用できる。

プロフィール

財団法人 成田国際空港振興協会

- 所在地：
(本部) 〒282-0004 千葉県成田市成田空港内第 2 駐車場ビル P3028
(芝山事務所) 〒289-1601 千葉県山武郡芝山町香山新田字雨堤 76 番地
- 従業員数：104 名
- 設立年月日：昭和 63 年 6 月 28 日
- 基本財産：2,000 万円
- 業務内容：
 - ①成田空港利用者の便益増進事業 ②成田空港と空港関係地域社会との調和促進事業
 - ③成田空港に係る広報活動事業 ④成田空港に関する調査研究事業
 - ⑤成田空港従事者の資質向上事業 ⑥成田空港の管理業務の一部を行う事業
 - ⑦その他協会の目的を達成するために必要と認められた事業
- 目的：成田国際空港の利用者の便益増進を図る事業、成田空港と空港関係地域社会との調和を促進する事業等を行うことによって、空港運営の円滑化と関係地域社会の発展に寄与することを目的とする。
- URL：<http://www.npf-airport.jp/>

【協会の概要】

成田空港が真に我が国を代表する国際空港としての機能を発揮していくためには、空港と空港利用者及び地域社会が調和ある発展を遂げていくことが欠かせません。

この成田空港が円滑に機能するための支援を目的に、財団法人成田国際空港振興協会は、昭和 63 年 6 月 28 日に公益法人として設立されました。

当振興協会では、設立以来、公益事業等を通して、旅客に便利で快適な空港づくり(空港利用者の便益増進事業)、空港と空港周辺地域との橋渡し(空港と空港関係地域社会との調和促進事業)、空港従業員が安心して働ける職場環境づくり(空港従事者の資質向上事業)、また、環境保全のための航空機騒音等調査など、様々な事業を行っております。

導入前の運用と課題

○大幅改正に対応できるソフトを

平成 20 年 12 月 1 日より施行された「新公益法人制度改革関連三法」。この新制度を補完するように、公益法人会計基準も大幅な改正がなされた。

外国人旅行者に対する日本文化の紹介や空港の周辺地域を対象としたスポーツ大会など、成田空港における様々な公益事業を行っている成田国際空港振興協会も、公益法人会計基準の大幅な改正に頭を悩ませていた財団の一つだった。

「今回の公益法人制度改革で会計基準が変わるのですが、一番大きな変更点は、公益法人も一般企業の様な損益計算に変わるという点です。以前は資金収支状況を表した収支計算書が主で、資金収支の科目で仕訳も入力していくシステムでした。しかし今回の制度改革によって正味財産増減計算書（一般企業の損益計算書に該当）が主となります」（総務部会計課 課長 秋山氏）

すると以前使用していたシステムでは、正味財産増減計算書科目での予算管理や仕訳入力などに対応できないことが判明した。従来のシステムは、資金収支取引を根幹にしたプログラムであることから、正味財産増減計算書に重点を置いたソフトに改修するのは、不可能ではないが難しいと担当者から説明を受けたそうだ。平成 6 年から長年使ってきたシステムだったため、今回の制度改革もなんとか乗り切ろうと考えてはいたものの、以上の様な理由により、他社のシステムへの切り替えが検討された。

決定のポイントと稼働までのスケジュール

○PCA なら改正によって生じる矛盾も解決

「以前から使用してきた会計システムの会社には、非常に感謝しています。細かな修正にも丁寧に対応していただきました。ただし今回の改正では、切り替えを検討せざるを得ない点がいくつかありました。中でも以前使っていたシステムでは正味財産増減計算書による予算管理ができないというのが、一番の問題でした。今回の制度改革にあたって、法人によっては、予算管理に関してのみ、これまでどおりの収支計算書で行っていく選択をした法人もあるかと思いますが、当協会はすべて正味財産増減計算書により管理していく選択を行いました。これによりオフィシャルの予算書が正味財産増減予算であるのに、会計システム上は資金収支でしか予算管理できない状態になってしまう。これでは矛盾が生じてしまいます。ここをなんとかクリアにしたいと、他社のシステムを検討しはじめました。何社か検討しようと思ったのですが、最初に検討した PCA でこれらの問題が解決できることを知ったため、他社の製品はあまり多く比較検討はしていません」（秋山氏）

○1 ヶ月の導入指導で本格稼働

まず平成 23 年 6 ～ 8 月に新たな会計基準による会計処理の検討と、既存システムの問題点の抽出が行われた。同年 10 ～ 12 月に新しい会計基準のもとでの事業区分、会計体系、科目体系の検討が行われた。そこで



財団法人 成田国際空港振興協会
総務部 会計課 課長
秋山 嘉孝 氏



財団法人 成田国際空港振興協会
総務部 会計課 主任
増田 隆宏 氏

先述したように PCA 製品なら大幅改正にスムーズに対応できるという点から、平成 24 年 2 月に『PCA 公益法人会計』を発注。3 月から導入指導が始まり、4 月から本格運用された。

「デモンストレーションの際には、どんな感じで帳票、計算書が出てくるのかにも注意していました。この点も問題ないということがわかったので安心しました」(総務部会計課 主任 増田氏)

導入後の効果

○科目の追加修正にも柔軟に対応

約 1 ヶ月だけの導入指導で本格運用できた同財団だが、やはり最初は不安もあったという。

「以前のシステムも十分使いやすかったんです。使い慣れてましたから、新しいものへの切り替えにはやはり不安がありました。これで本当に大丈夫なのかとも思いましたよ。入力のしやすさは以前のシステムも非常に楽でしたから。しかし先ほど秋山が述べたように、昔の会計基準のままで入力をするよりも、新しい会計基準で入力すれば W スタンドのような状態は避けられます。会計課には現在 4 名のスタッフがおりますが、他のスタッフも 1、2 ヶ月でスムーズに PCA のソフトに慣れました」(増田氏)

実際の操作面だが、処理スピードと入力のしやすさに関しては以前のシステムと同じぐらいの満足度だが、計算書類は断然見やすくなったと話す。「計算書類が以前に比べて見栄えがよくなったという印象です。また、PCA の公益法人会計で私自身が一番満足している点は、科目の追加と修

正が容易である点です。科目の追加や編集が容易であることのメリットは、今回のような大幅な改正にも対応しやすいだけではありません。改正がなくても毎年事業内容の見直しは行いますから、それに対応できる点はメリットの一つですね」(増田氏)

今後の課題と展望

○真価が問われるのは初めての決算処理後

スムーズに切り替えが行われた同財団だが、改良したい点もあると話す。「現在、伝票を伺書・証憑・振替伝票の 3 枚をセットして保存しています。例えば、振替伝票は A4 で出力する場合、上段・下段の 2 枚になってしまうのですが、1 枚ごとの伝票を出力できるスタイルも選択できれば、用紙を切ったりせずにそのまま保存が可能になり、より使いやすさが増すと思います。また同じ日の午前と午後に分けて入力した場合、午後に出しようとする午前中に入力したのも全部出てきてしまいます。未出力分だけが区別でき、一度出した伝票は出ないようにできる設定もあると便利です。また当協会では手がけている事業が非常に多いのですが、現状では事業番号しか出ませんが、ここに事業名も追加できると、チェックしやすいと思います」(増田氏)

「概ね PCA の公益法人会計システムには満足はしています。ただしまだ私どもが使いこなせていない面もあり、自動仕訳などは非常に便利なので、まだそこまで至っていません。おそらく本当に PCA の良



本部にて撮影



財団法人 成田国際空港振興協会 HP
http://www.npf-airport.jp/



成田空港力検定 HP
http://www.npf-airport.jp/kentei/

「成田空港力検定」は、成田空港建設の歴史、空港の機能、旅行情報、空港に乗り入れる航空会社や交通機関の知識、空港を取り巻く環境や空港周辺観光地の情報など多岐にわたる知識を認定するもので、より多くの方に成田空港ファンとなって頂くことを目的として実施しています。

[主催] 財団法人 成田国際空港振興協会

さ、あるいは改良点がわかるのは、平成 25 年の 3 月決算が終わってからだと考えています。真価を問うという点でも、ある意味楽しみにしながら、決算という重要な作業に取り組みたいです」(秋山氏)

○最良の結果は“問題なく”切り替えが済むこと

今回の大幅な改正なども受け、納得のいく会計システムを探している公益法人は多いだろう。いったい何を決め手に会計システムを選んでいくのがベストなのだろうか？

「新しくシステムを入れ替えるときには、やはり以前のシステムからスムーズに問題なく切り替えられるかどうかが一番の決め手だと思います。会計の業務では前年度、あるいは前々年度の数字とも比較することも多く、同時に 2 つのシステムを使う場面も多々あります。そのような場合でも不具合なく、問題なく作業できることが一番だと思います。“問題ない”ということが我々が一番求めている状態ですから」(秋山氏)

「導入時に PCA の担当者から『こういう科目を入れたらどうですか？』というアドバイスをいただいて、とても助かりました。多くの導入実績があるからこそそのアドバイスだったと思います。ただし欲を言えば、ある程度使い方に慣れてきた時期に、もう一度あらためて使用感や問題点などを実際に操作しながらじっくりと聞いていただきたいと思います。このまま慣れてしまうと違和感なども忘れ

て、いつの間にか PCA の色に染まってしまうから（笑）。なので PCA への切り替え後、初の決算を行い、そこで新たに判明した問題点などを PCA と共有しつつ、他の公益法人さんにとってもさらに使いやすいシステム環境の構築を生みだすことに、我々の意見を役立てていただけたらうれしいです。今後もよい製品を生みだしてもらうことを期待しています」(増田氏)



独自の会計基準を持つ森林組合にも『PCA会計X』で対応。
数字をスピーディーに共有化することで、
職員の経営意識のさらなる向上に

高知市森林組合

高知市・鏡川の渓流沿いに事務所を構える高知市森林組合。約2年前に『PCA会計X』『PCA給与X』を導入し、その効果は単に集計ミスを防ぐ業務の効率化だけにとどま
ていない。PCA製品によって職員たちが「数字を共有」することで、高い経営意識にも
繋がっているのだ。特殊な組合会計にも応用できる『PCA会計X』『PCA給与X』のメリッ
ト、さらにPCA製品を使いこなすための有益なアドバイスもいただいた。

導入システム

- ・PCA会計XシステムB
- ・PCA給与XシステムA

導入の狙い

- ・手書きの処理による計算ミスや時間の問題を解決したい。
- ・独特な会計基準の組合会計だが、なるべくコストを抑えた会計ソフトで処理したい。
- ・職員の誰もが数字を把握できる環境にしたい。

導入効果

- ・『PCA会計X』によって人為的な集計ミスを軽減。処理時間も大幅に効率化。
- ・『PCA会計X』なら工夫を加えることで、協同組合の会計にも応用できる。
- ・スピーディーで確実な会計処理ができ、職員・従業員の経営意識にも活用できる。

プロフィール

高知市森林組合

- 所在地: 〒781-3102 高知県高知市鏡小浜8
- 資本金: 38,594千円
- 売上高: 123,660千円
- 従業員: 12名
- 非常勤役員: 9名
- 設立: 2005年1月
- 主業種: 林業
- 事業内容: 森林管理、木材生産 他

高知市森林組合の事務所横を流れる美しい「鏡川」。「平成の名水百選」にも選定されている。



導入前の運用と課題

○独自の会計基準を持つ協同組合。ベテラン担当者の“頭の中に頼る状況”を改善したい

平成24年5月から『PCA会計X』『PCA給与X』を導入している高知市森林組合。それ以前の会計処理は手書きで行われていたという。一枚一枚の伝票を手計算で集計していくため、当然時間はかかってしまう。また集計ミスに気付くまでの時間を何とか解決したかったと、総務係 係長 佐竹 泰美氏は当時を振り返る。

「当時はベテランの方と私の2名体制で会計業務を行っていました。手書きの処理で困ったのは訂正の処理でした。元帳に訂正の処理を繰り返すとやはり見にくくなります。また試算表を最後に照らし合わせてやっとミスに気付くという状態でした。そのミスが計算ミスなのか、それとも伝票の数字を起こした時のミスなのかを突き止めるために、また一枚一枚伝票を確認する。このように計算と確認にかける時間が大きな負担になっていました」

同組合が会計ソフトの導入に時間をかけたのには理由がある。森林組合に限らず、農協や漁協などの協同組合はそれぞれ一般企業とは異なる独自の会計基準を持っている。そのためそれぞれの組合の会計基準に100%適した会計システムを求めるのなら、一からシステムを構築していくか、あるいはかなり高額な専用ソフトを購入するかの二者択一になってしまう。大規模な森林組合ならその選択は可能だが、小さな規模の組合では高額なシステム構築や専用ソフトの購入は厳しい。そのため組合の会計基準に長年慣れてきたベテラン担当者の手書き処理に頼らざるを得ない面があった。

「しかし、そのベテランの方が退職されることになり、同じように処理できる人が

いない状況になりました。数字の流れやルールはベテランの方の“頭の中”に入っていましたからね。そこで業務の負担を軽減でき、かつ誰もが操作しやすく理解でき、特殊な組合会計にも対応できる会計ソフトがないかを、OA機器を担当してくださっているメーカーさんに相談したところ、PCAを紹介してもらいました」

導入後の効果

○組合の独自会計基準を熟知するPCAインストラクターによる指導

労力がかかっていた手書きの伝票処理だが、それが結果として役に立った面もあると佐竹氏は語る。

「初め私は商業簿記の知識しかなかったのですが、一枚一枚伝票をめくる処理を経験したことで、森林組合簿記の中身を理解することができたのです。そしてこのことによって『PCA会計X』を当組合に合わせて使用していくための基準も見える結果となりました」

これに加えて、導入時に指導を行ったPCAインストラクターの力も大きかったという。

「導入時の指導に来てくださったPCAインストラクターの方が、以前、漁業組合での導入指導の経験がある方でした。当初は『本当に私の話をわかってくれるだろうか、森林組合の特殊な会計基準を理解してくれるだろうか』と不安もありましたが、その不安は無用でした。私の話もよく理解してくださってスムーズに導入でき、当時は私がまだ慣れていない時でしたから、そのインストラクターの方の対応は心強かったです」

○摘要を利用することで事業ごとの集計・検索が容易に



高知市森林組合
総務係 係長
佐竹 泰美 氏



造材作業の様子

伐採・造材・集材・搬出の作業をしています。プロセッサという重機で、伐採した立木を集めながら長さを切り揃えています。

『PCA会計X』について、まずはその検索性の高さに便利さを感じていると佐竹氏は評価する。同組合では摘要欄を上手に利用しており、あらかじめよく利用する摘要文を登録しておき、後から簡単に検索・集計できるようしている。摘要欄には全角128文字まで入力できる。この摘要をもとに科目別・補助科目別の明細書も作成できるため、事業ごとの管理が求められる森林組合の場合は、この摘要集計を使って事業ごとの数字を把握することもできる。補助元帳から事業ごとに「今、いくらこの事業にお金がかかっているか」を集計し、それを現場で働く技術部の従業員にも積極的に開示しているそうだ。

またCSV変換の容易さも便利な機能だと佐竹氏は語る。「一般企業向けの『PCA会計X』を森林組合に応用していますから、『PCA会計X』内の機能では集計できない部分も出てきます。その場合は、CSVに変換し、それをExcel®で処理することになるのですが、この一連の変換操作も非常に簡単にできます。この部分は本当に助かっている部分ですね」

○最大の効果は「職員・従業員間の数字の共有」。それを経営改善にも活かす

このような検索・集計機能によって出力された帳票は、職員がみんなで閲覧できるようファイリングされている。この「数字の共有化」は、PCA製品を導入することで得られたとても大きな効果だったと佐竹氏は語る。

「PCAソフトを導入した年は、経営計画に取り組む初年度でもありました。そのため数字にスピード感をもたせたことはとても意味が大きかったです。組合事業とはいえ、ふたを開けたら赤字だったという状況は、今は許されない時代です。組合員の方に少しでも利益を還元するためにも、事務職員も現場の従業員も経営意識を持つことが先決で、そのためには『数字をみんなで共有できること』は前提です。ですから数字をスピーディーに職員・従業員たちに知らせ共有できることは、PCA製品導入の大変大きな効果でした」

このように「数字をわかりやすく共有で



組合本所にて取材

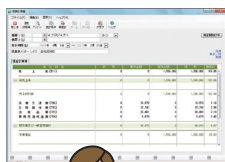
システム概況図

<メリット1>

Excel®データ出力、CSVデータ受入が容易で集計もスピーディー

<メリット2>

摘要集計がスムーズにでき、事業ごとの集計も容易にできる



摘要計算書



PCA会計X



PCA給与X

<メリット>

年末調整・社会保険料率変更の処理が簡単に

<メリット3>

消費税集計機能で課税・非課税ごとに集計・検索。税理士側の処理も容易になる



高知市森林組合

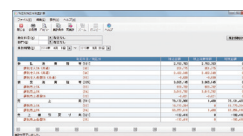
【効果】

事業ごとに集計された数字は、職員や従業員と共有

【結果】経営意識の向上に



税理士事務所



科目別税区分別集計表



【森林組合とは】

森林組合は、山の手入れ、植え付け、伐採、山の売買等のお手伝いをする協同組合です。森林の近くには必ずあり、組合員でなくても相談をすることができます。

また高知には、活発に活動し、全国からも注目されている森林組合がたくさんあり、高知市森林組合もそのひとつです。



きること」という視点から、PCAには帳票類をもう少し工夫してほしいとも語る。

「例えば伝票番号と日付をそれぞれフォントが変えられたら、より見やすいと思います。特に合計残高試算表については、当組合の場合たくさんの補助科目を作っているの、数字が少し見にくい。コスト削減のためモノクロ印刷で出力しているので、例えば文字を斜体にするだけでも見やすさは変わってくるように思います」

○最初に「出力帳票集」を見ることで、組合会計への応用のヒントに

佐竹氏からは、帳票を元にPCAソフトをよりスムーズに導入できるアドバイスもいただいた。

「PCAソフトにはそれぞれ『出力帳票集』が付いています。私の場合はマニュアルを完読するよりも、この帳票集を最初に見て『この集計はできて、あの集計はできない』というヒントにしました。帳票集は集計の答えが集まっているので、組合会計を一般の会計ソフトで応用する場合にも、何が応用できて、何が応用できないかの参考にできると思います」

『PCA給与X』についても、社会保険料率や年末調整などは以前よりかなり負担が減り、何よりもミスのない計算ができる点について安心しているという。

『PCA会計X』『PCA給与X』の導入によって、業務が大きく効率化した高知市森林組合だが、PCAソフトは税理士との信頼感も深めるツールにもなったと佐竹氏は語る。

「税理士の先生がよく気に留めておられ

たのが、消費税の計算でした。組合事業の場合、課税・非課税の設定が複雑で、手計算の頃には伝票を一枚一枚確認する必要があったのですが、今は消費税集計表や消費税明細書によって消費税の見通しがつくようになりました。『数字が見えるようになったこと』は職員・従業員・税理士の先生それぞれにとって好都合だったと思います」

今後の展望

現在、高知市森林組合では組合員の世代交代を進めており、そのためにも若い人たちが安心して林業の職に就ける環境を整えていきたいそうだ。「当組合が受け持つ森林は、高知市の水源である鏡川の流域に広がっています。高知市の人々においしい水を届けるためにも森林の手入れは必要です。そのような意識も持ってどんどん若い人に森林事業に参加していただきたいです。そのためにも当組合が安心して働いていただける環境を作らなければなりません。その環境づくりのためにもPCA製品を活用しながら当職員たちが高い経営意識を持って、今後も取り組んでいきたいです」

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。

2014.07.01

